

オペレーターズマニュアル

KW452

全天候キャブ





500 Venture Drive
Orrville, OH 44667
www.ventrac.com

オーナー様へ ご連絡をいただく際に必要となる情報

製品の修理等について、Ventrac 正規販売店にお問い合わせされる場合は、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。

以下に必要情報をメモしておきましょう。製品の銘板は、下の写真に示す位置にあります。下のメモ欄に記録しておいてください。

販売店名: _____ 購入日: _____

販売店の所在地: _____

販売店の電話番号: _____ 販売店の FAX 番号: _____

モバイルデバイスでシリアル番号プレートのQRコードをスキャンすると、マニュアル、保証、その他の製品情報にアクセスすることができます。



モデル番号 _____

シリアル番号 _____



Venture Products Inc. は、設計・仕様を変更する権利を留保します。弊社は、過去に製造された製品に対してかかる変更を行う義務を負いません。

目次

はじめに	ページ 5
製品の説明	5
オペレーターズマニュアルが必要な理由?	5
マニュアルのご使用方法	6
マニュアル用語	6
安全関係	ページ 7
基本的な安全対策	7
必要なトレーニング	7
個人用保護具 (PPE) の装着義務について	7
運転時の安全確保	7
人を乗せない	9
傾斜地での運転	9
トラックやトレーラによる搬送	10
メンテナンス	10
燃料の安全について	11
油圧機器の安全について	12
安全デカル	14
セットアップ手順	ページ 16
部品の識別	16
パワーユニットと全天候キャブのセットアップ手順	18
運転装置	ページ 30
運転装置の配置	30
外側ドアハンドルとロック (A)	30
内側ドアハンドル (B)	30
ウィンドウラッチハンドル (C)	30
室内灯スイッチ (D)	30
ハザードランプスイッチ (E)	30
ストロボ照明スイッチ (F)	31
リア作業灯スイッチ (G)	31
フロント作業灯スイッチ (H)	31
ワイパー/ウォッシャースイッチ (I)	31
ヒーターファン速度スイッチ (J)	31
ヒーター温度スイッチ (K)	31
USB ソケット (L)	31
リアヒーターベント (M)	31
メインヒーターベント (N)	31
霜取りファンとスイッチ (O)	31
運転操作全般について	ページ 32
日常点検	32
4点式シートベルト	32
ストロボ照明	32

目次

整備	ページ 33
機体の清掃と一般的な保守整備作業	33
シートベルトアッパーマウント調整	33
ウインドウラッチの調整	33
ウインドウラッチハンドルの調節	33
ドアラッチの調整	33
ドアラッチの注油	34
下部ドアウインドウの調節	34
ヒューズの交換	34
ワイパーブレードの交換	35
フロントウインドウウォッシャーノズルの点検と調節	35
ストロボを点滅モードに変更するには	35
ストロボ照明ピンの潤滑	35
ヒーターエアフィルターの交換	36
格納保管	36
パワーユニットのタイヤ空気圧	37
仕様	ページ 38
寸法	38
特長	38

はじめに



Ventrac Products Inc. より、謹んでVentracの新しいKW452全天候キャブをお届けいたします!Ventrac の機器が、お客様にワントラクタソリューションをお届けできることを祈念しております。

お買い上げいただいたKW452全天候キャブと組み合わせ可能な製品すべてを、弊社ウェブサイトでご覧いただくことができます。正規販売店でもご紹介可能です。

	説明	パーツ番号
アクセサリ	霜取りファンキット	70.2006-6
	ハザードランプキット	70.8162
	ミラーキット	70.2006-4
	ストロボ照明キット	70.8161
	前面ウインドウォッシャーキット	70.8148
	KW452用ヒーター取り付けキット (4500Y/4520Yクボタディーゼル)	70.2014-51
	KW452用ヒーター取り付けキット (4500P/4520Pカワサキ)	70.2014-52
	KW452用ヒーター取り付けキット (4500Z/4520Zクボタガソリン)	70.2014-53
	リフトスリング	47.0381

製品の説明

Ventrac KW452全天候キャブは、優れた視界を確保しながら、オペレーターを天候から保護することを唯一の目的として設計されています。標準装備には、フロントワイパー、フロントおよびリアLED作業灯、大型左側乗降ドア、右側緊急出口、素早く簡単に取り外せるドアとサイドウィンドウ、4点式シートベルトが含まれます。シリアル番号01287以上のすべてのキャブにはヒーターが装備されています。ヒーターをキャブのパワーユニットエンジンに接続するには、ヒーター取り付けキットを購入する必要があります。

オプションのアクセサリには、ストロボライト、ハザードライト、ミラー、フロントガラスウォッシャー、デフロストファンキットなどがあります。想定される適用場所に固有の照明要件については、国または地域の規制を参照してください。

注意: KW452全天候キャブは、Ventrac KH500またはKM500ローダー、Ventrac RV602コレクションバキューム、または70.4137ミッドウェイトバーキットと一緒に使うことはできません。KW452全天候キャブは、グルーマードラッグキットを装備したボールパークグルーマーと一緒に使うことはできません。グルーマードラッグを折りたたんでボールパークグルーマーを上げる際に、グルーマードラッグハンドルがキャブの後部窓に接触して破損する可能性があります。

オペレーターズマニュアルが必要な理由?

このマニュアルは、お買い上げいただいた機械を安全に運転操作し維持管理するために必要な重要な知識を身につけ、けがや製品の破損を防止するためのものです。知りたい情報をすぐ探せるように、いくつかの章に分けて作成されています。

Ventrac の機器それぞれについて、該当する取扱説明書をお読みにになり、内容を理解してください。マニュアルをお読みにすることで、それぞれの機器に精通することができます。マニュアルが破損したり読めなくなったりした場合は、すぐに交換してください。お近くの Ventrac 売店で新しいマニュアルを入手していただけます。

Ventrac のアタッチメントを使用する際は、パワーユニットとアタッチメントの両方のマニュアルを読んで安全確保と正しい運転操作について学び、安全作業を心掛けてください。

このマニュアルには、機械の最も安全な運転方法と、機械の性能をを最大限に引き出すための情報が掲載されています。記載されている安全上の注意事項を守らないと、人身事故や機器の故障・損傷の原因となります。

はじめに

マニュアルのご使用方法

このマニュアルでは、人身事故や機械の損傷などを起こすことなく製品をお使いいただくことができるように、安全上の懸念となるような潜在的な危険について説明しております。機械をお使いいただく際は、常に安全第一を心掛ける必要があります。適切な作業手順を守り、十分に運転操作経験を積んで、事故防止に努めてください。

記号の説明



この記号は健康や安全に関する危険が潜んでいることを意味します。すなわち安全に関わる注意事項をお伝えするものです。あなたと他の人の安全に関わる内容です。

危険の度合いを表す3種類のキーワードがあります。危険、警告、注意、です。

キーワードの意味

⚠ 危険

危険は、人の生命に関わる重大な潜在的危険を意味します。この注意を守らないと死亡事故や重大な人身事故が起こります。危険の度合いが非常に大きい場合に、この言葉が用いられます。

⚠ 警告

警告は、人の生命に関わる潜在的危険を意味します。この注意を守らないと死亡事故や重大な人身事故が起こる恐れがあります。

⚠ 注意

注意は、安全に関わる潜在的危険を意味します。この注意を守らないとけがや物損事故をおこす可能性があります。安全でない行動や取扱い方法に対して注意を促す場合にも用いられます。

この他に2つの言葉で注意を促しています。**注意事項**は、製品の機械的特徴などについての注意点、損傷や失敗を避けて手際よく作用するためのコツなどを示します。

注意はその他の一般的な注意点を表しています。

注:このマニュアルでは、左右を表す方法を以下のように統一しております。左右は常に運転席に座って前を向いている状態を基準として表現されます。

マニュアル用語

パワーユニット Ventracトラクタやその他の Ventrac 製品でエンジンを搭載して自走することが可能な機械。アタッチメントやアクセサリを搭載することができる動力機械。

アタッチメント Ventrac 製品のうちで、パワーユニットによって駆動させる機械。

アクセサリ パワーユニットやアタッチメントに取り付けて使用する機械。

マシン パワーユニットと共に用いられるアタッチメントやアクセサリ。

安全関係



基本的な安全対策



Ventrac の動力機器、アタッチメント、アクセサリを取り扱うために

必要なトレーニング

- 本機のオーナーは、オペレータに適切なトレーニングを施すことについて全責任を負います。
- 本機のオーナー・オペレータは、本機の運転操作に伴って発生する、すべての人身事故・物損事故の防止および結果について全責任を負います。
- トレーニングを受けていない人や子供に運転操作をさせたり修理整備をさせないでください。地域によっては機械のオペレータに年齢制限を設けていることがありますのでご注意ください。
- 本機を運転する前に、オペレーターズマニュアルを読んで内容を十分理解してください。
- オペレータがマニュアルの内容を理解できない場合は、オーナーの責任において、内容を十分に理解させてください。
- 運転に必要なすべての装置について、その使い方を学び、理解してください。
- パワーユニットやアタッチメントを緊急停止させる方法を知っておいてください。

個人用保護具 (PPE) の装着義務について

- オーナーは、本機を運転するすべてのオペレータに、適切な防具 (PPE) を着用させる責任があります。本機を使用するときは、必ず以下の PPE を使用してください。
- 目 (視覚) と耳 (聴覚) の保護具 (認定品)。
- つま先が閉じている滑り止め機能のある履物。
- 長ズボン。
- マスク (ほこりの多い場所で作業する時)。
- その他、状況次第で必要となる保護具。その他の要件については、製品の安全についての章を参照してください。

運転時の安全確保

- 長い髪は束ねてください。だぶだぶの服装は避けてください。アクセサリは身に着けないでください。
- 運転前点検を行ってください。破損したり欠落、摩耗している部品は交換してください。ガードやシールド類がすべて適正位置に取り付けてあり、正常に機能することを確認しましょう。運転に必要な調整は、運転開始前に済ませましょう。
- 本書では、説明の都合上、シールドやカバーを外すなどした写真を使用していることがあります。どんな場合にも、運転時にはシールドやカバーを必ず取り付けてください。
- 本機に改造や変更を加えると、安全性が低下し本機を破損させる恐れがあります。安全装置を改造しないこと、シールドやカバーを外したままで運転しないことをお守りください。
- 毎日の運転開始前に、運転装置がすべて正しく機能すること、安全装置がすべて正常に機能していることを確認してください。運転装置や安全装置が正常に機能していない場合は、運転しないでください。
- 運転前に、駐車ブレーキの機能点検を行ってください。必要に応じて駐車ブレーキの修理や調整を行ってください。
- 安全デカルに記載されているすべての注意事項を守ってください。
- どの運転装置も、運転席以外からは操作できないようになっています。
- ROPS 搭載機では、ROPS を真っ直ぐに立てた状態で固定し、必ずシートベルトを着用して運転してください。

安全関係



基本的な安全対策

Ventrac の動力機器、アタッチメント、アクセサリを取り扱うために



- 運転前に、アタッチメントやアクセサリがパワーユニットに確実に取り付けられていることを確認してください。
- 運転開始前に、パワーユニットとアタッチメントの周囲に人がいないことを確認してください。作業場所に人が入ってきたら機械を停止させましょう。
- 運転操作に集中しつつ、常に周囲の状況に注意を払ってください。常に機械の進行方向を注視してください。
- バックするときには、足元と後方の安全に十分な注意を払ってください。
- マシンが何かにつづいたら、すぐに停止して点検してください。破損箇所は必ず修理してから、運転を再開するようにしてください。
- 故障や破損の気配に気づいたら、直ちに運転を停止してください。運転音が通常と異なるのは破損や故障の徴候の場合もあり、また整備をすれば直る場合もあります。破損箇所は必ず修理してから、運転を再開するようにしてください。
- ハイ・ローレンジ機能のあるマシンの場合、傾斜地では絶対にレンジの切り替えをしないでください。シフトは必ず平地で、駐車ブレーキをかけた状態で行うこと。
- 装置が動作中は機械から離れない。
- 駐車する時は必ず平らな場所に駐車してください。
- アタッチメントの駆動ベルトをパワーユニットに取り付ける時は、必ずエンジンを停止してください。
- 運転席を離れる場合には、必ず、アタッチメントを地表面まで降下させ、駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止し、イグニッションキーを抜き取ってください。すべての可動部が完全に停止するまで、運転席を離れないでください。
- マシンから離れる場合には、必ず、アタッチメントを地表面まで降下させ、駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止し、イグニッションキーを抜き取ってください。
- 十分な明るさのない場所で運転しないでください。
- 落雷の危険がある時には運転しないでください。
- アタッチメントから放出される刈りかすなどを、人や建物、動物、車などに向けしないでください。
- 壁やなどにも向けしないでください。壁などに当たった異物が飛んできてけがをする恐れがあります。
- 見通しの悪い曲がり角や、茂み、立ち木などの障害物の近くでは十分に安全に注意してください。
- 締め切った場所では、エンジンを運転しないでください。
- エンジン回転中や停止直後は、エンジン本体やマフラーに触れないでください。これらの部分は高温になっており、触れると火傷を負う危険があります。
- エンジンのガバナの設定を変えたり、エンジンの回転数を規定以上に上げたりしないでください。規定以上の速度でエンジンを運転すると人身事故の危険が大きくなります。
- バッテリーコンパートメント、エンジンルーム、マフラーの周辺などに刈りかす、落ち葉、大量のグリスなどの可燃物がたまると火災の恐れがありますから、こまめに掃除してください。
- マシンにつづったり、当たって跳ね飛ばされたりする可能性のあるものを作業場所に置かないようにしてください。

安全関係



基本的な安全対策

Ventrac の動力機器、アタッチメント、アクセサリを取り扱うために



- 作業場所に、無用の人間やペットなどを近づけないでください。
- 作業を始める前に、作業場所をよく観察してください。安全に走行できるか、転倒の危険がないか、わからない場所では運転しないでください。
- 不整地では速度を落としてください。
- 不適切な運転は、重大な人身事故や死亡事故につながります。運転前に、パワーユニットと、使用するアタッチメントを安全に運転操作する方法を十分に理解してください。
- 体調が悪い時や気分がすぐれない時、スマホなどの機器に対応しなければならないことが予想される時、判断力や反射的な動作に影響が出るような物質を摂取した時は、運転しないでください。
- 子供はマシンに非常に興味を持つものです。子供に注意し、作業場所に入れないようにしてください。子供が近づいてきたらマシンを停止させてください。
- パワーユニットやアタッチメント、アクセサリは、公道を走行することを目的としておりません。絶対に公道上や高速道路上で運転しないでください。
- 道路の近くで運転するときは、安全灯を点灯してください。
- 道路付近での運転や道路を横断する場合は、速度を落とすとして、周囲の交通に十分注意してください。道路や歩道を横断するときは、一旦停止してください。視界が遮られる場所やその近くでは、安全に十分注意してください。

人を乗せない

- パワーユニットに乗れるのはオペレーター一人だけです。他の人を乗せないでください。
- アタッチメントやアクセサリにも、絶対に人を乗せないでください。

傾斜地での運転

- 斜面はスリップや転倒などを起こしやすく、これらは重大な人身事故につながります。パワーユニットの運転装置に十分に慣れると共に、緊急ブレーキをいつでも使えるようになってください。
- 折りたたみ式の ROPS が装備されているマシンを傾斜地で運転する時は、ROPS を立ててロックしておく必要があります。
- 傾斜が 15 度を超える場所で（ローレンジが使えるマシンでは）ローレンジで運転してください。
- 傾斜地では、急停止や急発進をしないでください。
- 傾斜地では絶対にハイ・ローレンジの切り替えをしないこと。レンジの切り替えや、パワーユニットをニュートラルにする時には、必ず平地に移動し、駐車ブレーキを掛けてください。
- 濡れた路面やぬかるみなどは、安全性を低下させます。立ち往生する可能性のある場所や転倒する可能性のある場所では運転しないでください。
- 危険な地形や見えにくい危険個所に注意してください。
- 段差、溝、堤防などには近づかないでください。
- 傾斜地で運転している時は、急旋回をしないように注意してください。
- 傾斜地での牽引作業は安全性が低下します。傾斜地では、オーナー/オペレータの責任において、安全に作業ができる限界荷重を決定してください。

安全関係



基本的な安全対策

Ventrac の動力機器、アタッチメント、アクセサリを取り扱うために



- ・ 移動走行する場合は、安定性を高めるため、アタッチメントを下げた状態または地表面にできるだけ近くまで下げてください。
- ・ 傾斜地では、可能な限り登り下り方向で運転してください。傾斜地を走行中に曲がる必要がある場合は、速度を落として谷側へゆっくりと曲がってください。
- ・ 運転中に燃料切れを起こさないよう、十分な量の燃料を積んでおいてください。推奨燃料積載量は最低でもタンク 1/2 です。

トラックやトレーラによる搬送

- ・ トレーラやトラックにマシンを積み降ろすときには安全に十分注意してください。
- ・ トレーラやトラックに積み込む際には、機体と同じ幅のある歩み板を使用してください。
- ・ 搬送中のマシンは、駐車ブレーキだけで完全に固定することはできません。必ず、ストラップ、チェーン、ケーブル、ロープなどで、パワーユニットとアタッチメントを運搬車両にしっかりと固定してください。機体の前後に取り付けた固定ロープは、どちらも、機体を外側に引っ張るように配置してください。
- ・ 搬送中は、パワーユニットの燃料バルブを閉めておいてください。
- ・ バッテリー遮断スイッチのあるマシンでは、スイッチを OFF にして、通電を遮断してください。

メンテナンス

- ・ 安全デカルは全て読める状態に維持してください。安全や操作説明に関わるデカルはどれもグリスやほこりで汚れないように維持してください。
- ・ デカルが色あせたり、読みにくくなったり、はがれてなくなったりした場合は、速やかに販売店に連絡して新しいデカルを入手してください。
- ・ 新しい機器などを取り付ける場合は、それに最新の安全デカルが貼られていることを確認してください。
- ・ 交換部品は必ず Ventrac 純正品を使用してください。
- ・ 修理を行う前に、必ずバッテリー遮断スイッチを OFF 位置にするか、バッテリーを取り外してください。バッテリーの接続を外すときにはマイナスケーブルを先に外し、次にプラスケーブルを外してください。接続するときにはプラス端子に先に接続し、次にマイナス端子に接続してください。
- ・ ボルト、ナット、ねじなどの締結具にゆるみが出ないように維持してください。
- ・ アタッチメントは必ず床面まで降下させ、駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止し、イグニッションキーを抜き取ってください。清掃、点検、調整、修理などの作業は、すべての可動部が完全に停止したのを確認してから行ってください。
- ・ パワーユニット、アタッチメント、アクセサリの修理方法や調整方法がオペレーターズマニュアルに記載されていない場合、それらの作業は Ventrac 正規販売店が行う必要があります。
- ・ 運転席に人がいるときは、絶対にパワーユニットやアタッチメントに対する作業を行わないでください。
- ・ バッテリーを取り扱うときは、必ず保護めがねを着用してください。
- ・ 定期的に、燃料ラインとその取り付け具合、摩耗の有無を点検してください。必要に応じて締め付けや修理を行ってください。
- ・ バッテリーコンパートメント、エンジンルーム、マフラーの周辺などに刈りかす、落ち葉、大量のグリスなどがたまると火災の恐れがありますから、こまめに掃除してください。
- ・ エンジン回転中や停止直後は、エンジン本体やマフラーなどの排気系統に触れないでください。これらの部分は高温になっており、触れると火傷を負う危険があります。

安全関係



基本的な安全対策

Ventrac の動力機器、アタッチメント、アクセサリを取り扱うために



- マシンを格納する際にはエンジンが十分冷えていることを確認し、また裸火の近くを避けて保管してください。
- エンジンのガバナの設定を変えたり、エンジンの回転数を規定以上に上げたりしないでください。規定以上の速度でエンジンを運転すると人身事故の危険が大きくなります。
- スプリングには、エネルギーが蓄積されている場合があります。スプリングやバースプリング付き部品を取り外すときは注意してください。
- 駆動系や可動部・回転部に障害物や詰まりなどがあると、エネルギーが蓄積されていることがあり、それらの障害物や詰まりを取り除いた時、駆動系や可動部・回転部が急に動くことがあります。障害物や詰まりを手で取り除こうとしないでください。動力部には手、足、衣服などを近づけないでください。

燃料の安全について

- 人身事故や物損事故を防止するために、ガソリンの取り扱いには細心の注意を払ってください。ガソリンは非常に引火・爆発しやすい物質です。
- 喫煙しながらの給油、裸火や火花の近くでの給油はしないでください。
- 給油は必ず屋外で行ってください。
- 燃料や気化した燃料が、裸火、火花、種火などに到達するような屋内で、マシンや燃料容器を保管しないでください。
- 燃料は必ず認定された容器に保存してください。子供の手の届くところに保管しないでください。
- トラックの荷台に敷いたマットなどの絶縁体の上では絶対に燃料の給油をしないでください。容器は車から十分に離し、地面に直接置いて給油してください。
- 給油は、マシンをトラックやトレーラから地面に降ろし、機体を接地させた状態で行ってください。マシンを車両に搭載したままで給油を行わなければいけない場合には、大型タンクのノズルからでなく、小型の容器から給油してください。
- エンジン回転中やエンジンが熱い間は、絶対に燃料タンクのフタを開けたり給油したりしないでください。エンジンが冷えてから給油してください。
- 傾斜地では絶対に燃料キャップを開けないでください。必ず、平らな場所に駐車してから開けるようにしてください。
- 給油後は、燃料タンクのキャップと燃料容器のキャップを確実に閉めてください。
- 燃料を入れすぎないでください。給油は燃料タンクの補給管の根元までとし、補給管一杯まで入れないでください。燃料タンクに燃料を入れ過ぎると、エンジン側に燃料があふれ出たり、タンクから燃料が漏れたり、燃料蒸気制御装置を損傷させたりする恐れがあります。
- 燃料がこぼれた場合、エンジンを始動させないでください。こぼれた場所からパワーユニットを離し、燃料が完全に気化して拡散してしまうまで、火気の使用を控えてください。
- 燃料タンクから燃料を抜き取る必要がある場合は、屋外で、認定された容器に排出することが必要です。
- 定期的に、燃料ラインとその取り付け具合、摩耗の有無を点検してください。必要に応じて締め付けや修理を行ってください。
- 燃料系統には燃料バルブが付いています。マシンを修理工場などへ搬送するとき、屋内に駐車するとき、は燃料系統の整備を行うときは、燃料バルブを閉じてください。

安全関係

基本的な安全対策

Ventrac の動力機器、アタッチメント、アクセサリを取り扱うために



油圧機器の安全について

- 油圧接続部にゆるみが無いように、またすべての油圧ホースとチューブを良好な状態で維持してください。オイル漏れが発見された場合は、必ず修理し、損傷や劣化したホースやチューブを交換してから運転してください。
- 油圧のオイル漏れには、高圧が掛かっている可能性があります。したがって油圧オイルの漏れには特別の注意が必要です。
- オイル漏れ箇所を探すときは、段ボールと拡大鏡を使ってください。
- 油圧のピンホールリークやノズルからは作動油が高圧で噴出しているので、絶対に手などを近づけないでください。高圧で噴出するオイルは皮膚を突き破って重大な傷害を引き起こし、放置すると重篤な合併症や二次感染につながる恐れがあります。万一、油圧オイルが皮膚に入ってしまった場合は、どんなに軽傷でも直ちに医師の診察を受けてください。
- 油圧システムは内部にエネルギーを蓄積している場合があります。油圧システムの整備や修理を行う前には、すべてのアタッチメントを外し、駐車ブレーキブレーキをかけ、重量移動システム搭載機ではシステムを解除し、エンジンを停止し、イグニッションキーを抜き取ってください。パワーユニットのエンジンを停止し、油圧コントロールレバーを左右に動かして補助油圧システム内の油圧を解放し、その後に補助油圧クイックカップラの接続を外してください。

安全関係



KW452の安全手順



- 全天候キャブをパワーユニットに取り付けると、パワーユニットの定格傾斜が最大運転角度10度に低下します。
- 雪や氷の堆積、または窓の曇りにより視界が制限されている場合は運転しないでください。運転前に、窓やフロントガラスのワイパーに付いた氷や雪を取り除き、窓の霜を取り払ってください。
- パワーユニットおよびKW452全天候キャブの運転中は、キャブのドアを閉じてラッチをかけておく必要があります。
- パワーユニットおよびKW452全天候キャブの運転中は、ウィンドウラッチを閉じた位置または開いた位置のいずれかでロックする必要があります。
- パワーユニットおよびKW452全天候キャブの運転中は、身体の一部をキャブの外側（窓、ドア、またはその他の開口部）に出さないでください。
- パワーユニットのダッシュボードとキャブのフロントフレームクロスメンバーの間に手や指を入れないでください。パワーユニットフロントフレームの振動により挟み込みが生じる場合があります。
- パワーユニットおよびKW452全天候キャブを運転するときは、必ず4点式シートベルトを着用してください。シートベルトは個々のオペレーターに合わせて調整する必要があります。
- ヘッドレストクッションを取り付けない状態で、パワーユニットとKW452全天候キャブを運転しないでください。
- KW452全天候キャブには緊急出口（右側前方窓）が装備されています。パワーユニットとKW452全天候キャブを運転する前に、緊急脱出口の使用方を学習してください。緊急脱出口の使用方については、このマニュアルの「操作コントロール」セクションを参照してください。
- KW452全天候キャブを取り付けた場合は、パワーユニットのステアリングシリンダーを外側の位置に取り付ける必要があります。ステアリングシリンダーが中央または内側の位置に取り付けられた場合、パワーユニットや全天候キャブが損傷してしまいます。ステアリングシリンダーの取り付け手順については、セットアップセクションを参照してください。
- 全天候キャブおよび追加アクセサリへの電流は30アンペアを超えないようにしてください。

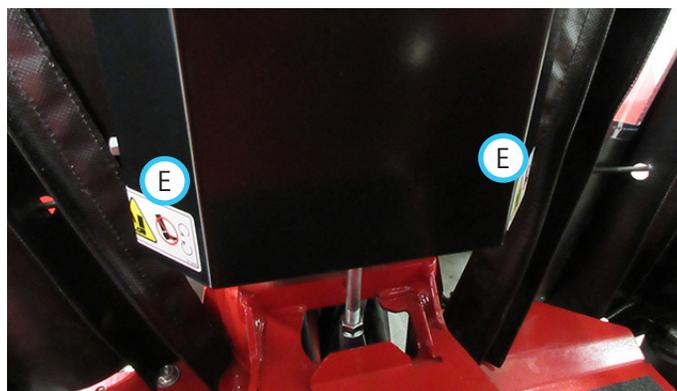
安全関係

安全デカル

以下の安全デカルは必ず全天候キャブに貼付しておいてください。

安全デカルは全て読める状態に維持してください。安全や操作説明に関わるデカルはどれもグリスやほこりで汚れないように維持してください。デカルが色あせたり、読みにくくなったり、はがれてなくなったりした場合は、速やかに販売店に連絡して新しいデカルを入手してください。

新しい機器などを取り付ける場合は、それに最新の安全デカルが貼られていることを確認してください。



ヒーターキット - クボタエンジンのみ



1. 身体を挟まれたりつぶされたりする危険可動部に近づかないこと。

安全関係



1. 警告: 爆破や火災の危険。
2. 燃料補給時、格納保管時、燃料保管時は火気、火花、種火などを近づけないこと。
3. 喫煙禁止。
4. エタノール含有量が10パーセント以下の無鉛ガソリンのみを使うこと。

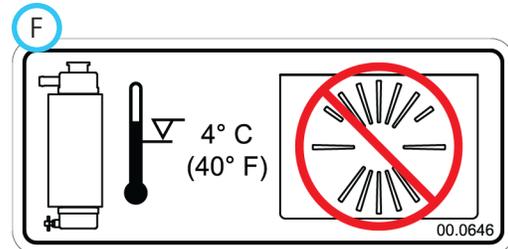


1. 警告: 爆破や火災の危険。
2. 燃料補給時、格納保管時、燃料保管時は火気、火花、種火などを近づけないこと。
3. 喫煙禁止。
4. 超低イオウ軽油以外の燃料は使用しないこと。

1. 非常出口。
2. オペレーターズマニュアルを読むこと。
3. 最大動作角度は10度。
4. 必ず4点式シートベルトを着用すること。
5. 認定された聴覚保護具を着用すること。



1. 足を挟まれたりつぶされたりする危険可動部に近づかないこと。



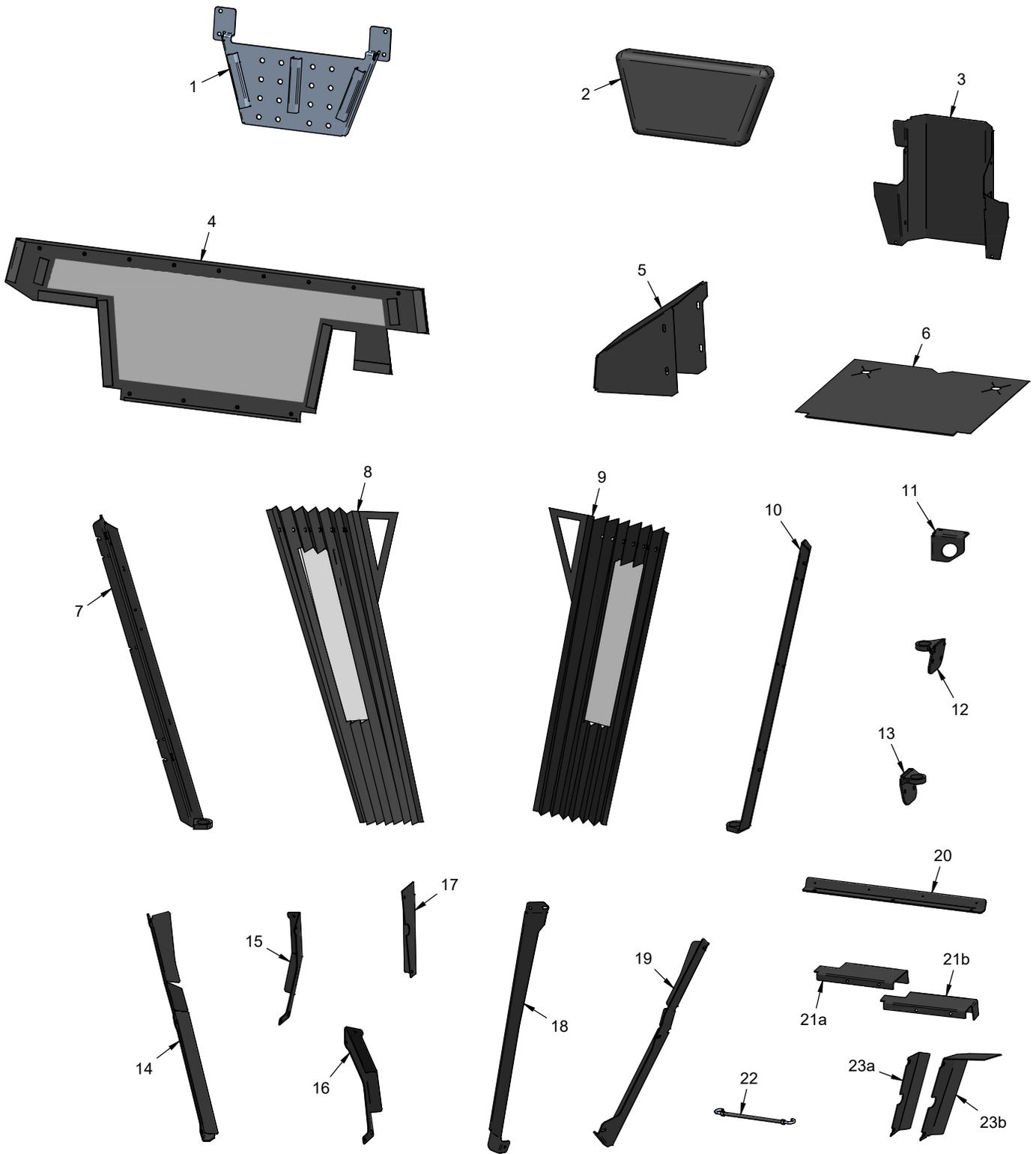
ヒーターキット - クボタエンジンのみ

1. 外気温が4°C (40°F) 以上の場合は、ラジエーターパッフルを取り外す必要があります。

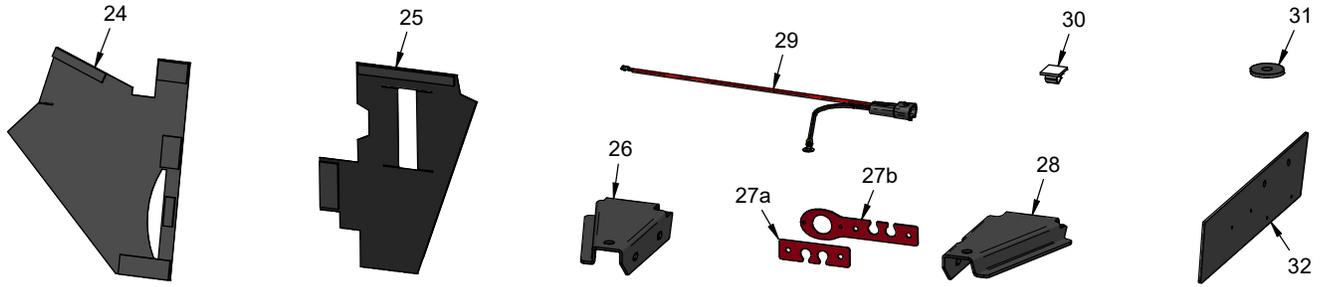
デカル	名称	パーツ番号	数量
A	警告: 挟まれる危険	00.0364	2
B	警告、KW452	00.0420	1
C	ガソリンの安全性	00.0457	1
D	軽油の安全な取り扱い	00.0637	1
E	足を挟まれる危険	00.0639	2
F	ラジエーターパッフル	00.0646	1

セットアップ手順

部品の識別



セットアップ手順



参照	名前	数量
1	マウント、シートベルトアッパー(シートベルト付き)	1
2	クッション、ヘッドレスト	1
3	カバー、ポンプ(フランジ付き)	1
4	ウィンドウ、下部後部キャンバス	1
5	カバー、燃料タンク	1
6	キャンバス、リアフレーム	1
7	サポート、キャブフロント右側	1
8	キャンバス、右ひだ付き	1
9	キャンバス、左ひだ付き	1
10	サポート、キャブフロント左側	1
11	ブラケット、マウントサポート	1
12	マウント、キャブ後部右	1
13	マウント、キャブ後部左	1
14	ブラケット、ウィンドウ右下	1
15	マウント、キャンバスコラム右	1
16	マウント、キャンバスコラム左	1
17	ブラケット、ウィンドウ後部下	1
18	サポート、ドアウィンドウ下部	1
19	ブラケット、ウィンドウドア下部	1
20	マウント、ウィンドウ後部下	1
21a	ブラケット、ウィンドウ後部トップ(4500)	1
21b	ブラケット、ウィンドウ後部トップ(4520)	1
22	ストラップ、ペローズサポート	4
23a	ブラケット、ウィンドウ後部左(4500)	1
23b	ブラケット、ウィンドウ後部左(4520)	1
24	キャンバス、右コラム	1
25	キャンバス、左コラム	1
26	マウント、キャブ前部右	1
27a	カバー、ワイヤーハーネスアクセス(4500)	1
27b	カバー、ワイヤーハーネスアクセス(4520)	1
28	マウント、キャブ前部左	1
29	ハーネス、ワイヤートラクターからKW452	1
30	クランプ、ワイヤーマウント接着剤1/2 グレー	1
31	ワッシャー、0.531 x 1.75 3/16厚	4
32	プレート、ドリルテンプレート	1
33*	デカール、ガソリン安全	1
34*	デカール、ディーゼル安全	1

参照	名前	数量
35*	グロメット、7/16ID、3/4OD、1/4厚	2
36*	タイトンタイ、#50 .18 x 8ブラック	4
37*	ブレーカー、回路 30アンペア ミニ	1
38*	ベルクロ、ループ 1/2"ブラック x 2"長	1
39*	ベルクロ、ループ 1/2"ブラック x 5"長	1
40*	ベルクロ、ループ 1/2"ブラック x 16"長	1
41*	ベルクロ、ループ 1"ブラック x 1"長	1
42*	ベルクロ、ループ 1"ブラック x 2-1/2長	1
43*	ベルクロ、ループ 1"ブラック x 4"長	1
44*	ベルクロ、ループ 1"ブラック x 8"長	2
45*	キー、ドアハンドル	2
46*	Uボルト、3/8-16 2-1/16 内径スクエア	4
47*	ボルト、1/4-20 x 1/2 BSCS	2
48*	ボルト、1/4-20 x 3/4 BSCS	18
49*	ボルト、ステップ 1/4-20 x 1 ブラック	4
50*	ボルト、5/16-18 USS x 3/4	5
51*	ボルト、5/16-18 USS x 1	1
52*	ボルト、7/16-14 USS x 1-1/4	2
53*	ボルト、1/2-13 USS x 3	4
54*	ワッシャー、フラット 1/4 SAE	6
55*	ワッシャー、フラット 5/16 SAE	6
56*	ワッシャー、フラット 7/16 SAE	8
57*	アイソレータ、内径 0.53 x 外径 1.87	4
58*	ナット、SRF 1/4-20 USS	12
59*	ナット、SRF 5/16-18 USS	4
60*	ナット、ロックフランジ 5/16-18	2
61*	ナット、ロックフランジ 3/8-16	8
62*	ロックナット、ストーパー 7/16-14 USS	2
63*	ナット、ロックフランジ 1/2-13	4

※商品は写真に写っておりません。

セットアップ手順

パワーユニットと全天候キャブのセットアップ手順

取り付け時間 (推定)

3.0時間

警告

取り付けを開始する前、または修理や調整を行う前に、必ず駐車ブレーキを掛け、パワーユニットのエンジンを停止してイグニッションキーを抜き取り、マシンのすべての動作が完全に停止していることを確認してください。電気部品に触るときは、必ずバッテリーのマイナスケーブルをバッテリーから外してください。

警告

取り付けの際は安全メガネを着用する必要があります。エア工具や電動工具を使うときは、必ず聴覚保護具を着用してください。

警告

キャブを持ち上げるには、4つのコーナーリフトポイントに取り付けられたVentracリフトスリング (部品番号47.0381) を使うか、キャブルーフを取り外して、キャブルーフ内の2つのリフトポイントに最小定格226 kgのリフト装置を取り付けます。

キャブが地面から浮いているときは、キャブの下を歩いたり下に立ったりしないでください。

警告

パワーユニットと全天候キャブのセットアップ中にパワーユニットが動かないように、車輪の前後に輪止めを取り付けてください。

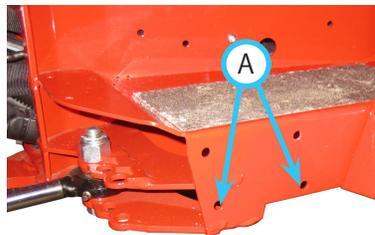
特段指定がない限り、全天候キャブの取り付け中に使われるすべてのボルトには、以下に記載されているボルトトルク値を使ってください。

ボルトトルク値		
ボルトサイズ	トルク (メートル単位)	トルク (インチ単位)
1/4-20	11 N·m	100 in·lb
5/16-18	24 N·m	210 in·lb
3/8-16	42 N·m	31 ft·lb
7/16-14	68 N·m	50 ft·lb
1/2-13	102 N·m	75 ft·lb

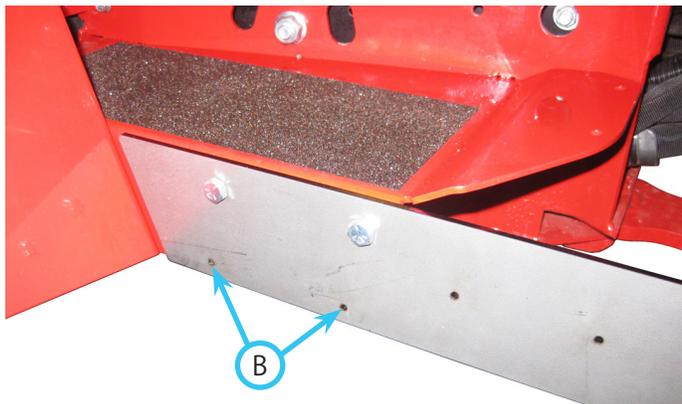
1. パワーユニットが動き出さないように、車輪の前後に輪止めを掛けてください。
2. パワーユニットのバッテリーからバッテリーのマイナスケーブルを外す。
3. ロールバーに取り付けられたライトキット (作業灯、ストロボライトなど) が装着されているパワーユニットの場合は、ロールバーからライトを取り外す必要があります。暖かい季節にキャブを取り外し、ライトキットを再取り付けする可能性がある場合は、ワイヤーハーネスをそのまま残しておくことができます。キットを永久に取り外す場合は、ワイヤーハーネスを取り外すことを推奨します。
4. 作業灯キットのワイヤーハーネスを取り外す場合、右フェンダー内のワイヤーハーネスを外します。メトリパック端子取り外しツールを使って、ワイヤーハーネスからコネクタを取り外す。ワイヤーハーネスをロールバーから引き出した後、フロントヒューズパネルの-slot6からヒューズを取り外す。ダッシュボード[4500]またはコントロールパネル[4520]からライトスイッチを取り外し、切り欠きに空のプラグを取り付ける。
5. 方向指示器/ハザードシグナルキットのワイヤーハーネスを取り外す場合は、ワイヤーハーネススプリッターをパワーユニットのワイヤーハーネスから外します。左右のワイヤーハーネスをハーネススプリッターから外す。メトリパック端子取り外しツールを使って、コネクタを左右のハーネス端から取り外し、左右のワイヤーハーネスをロールバーから引き出す。パワーユニットにバックアップアラームが装備されていない場合は、前面ヒューズパネルの-slot7から10アンペアのヒューズを取り外します。パワーユニットにホーンキットが装備されている場合は、10アンペアのヒューズを5アンペアのヒューズに交換します。方向指示器スイッチとハザードランプスイッチをダッシュ[4500]またはコントロールパネル[4520]から取り外し、合わせてスイッチコネクタハーネスと方向指示/ハザードモジュールも取り外し、切り欠きに空のプラグを取り付ける。
6. ストロボライトキットのワイヤーハーネスを取り外す場合、右フェンダー内のワイヤーハーネスを外します。メトリパック端子取り外しツールを使って、ワイヤーハーネスからコネクタを取り外す。ワイヤーハーネスをロールバーから引き出した後、フロントヒューズパネルの-slot6からヒューズを取り外す。ダッシュボード[4500]またはコントロールパネル[4520]からライトスイッチを取り外し、切り欠きに空のプラグを取り付ける。
7. パワーユニットにプロパンキットが装着されている場合は、プロパンホースとワイヤーハーネスをロックオフバルブから外し、プロパンポストをマウントブラケットから取り外す必要があります。これはキャブが装着された後に再度取り付けられます。

セットアップ手順

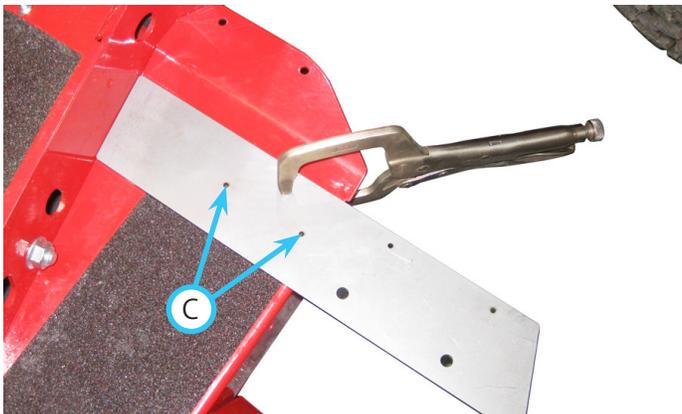
8. 下部後部フレームの左右外側フランジをチェックする。パワーユニットの下側に取り付け穴セット (A) がある場合は、手順13に進みます。



9. 付属のテンプレートを下部後部フレームの右側に取り付ける。テンプレートがフットプラットフォームの上面と平行になるように注意しながら、5/16"のボルトとナットを使って上部の穴に固定する。フランジに1/8"の下穴 (B) を開ける。

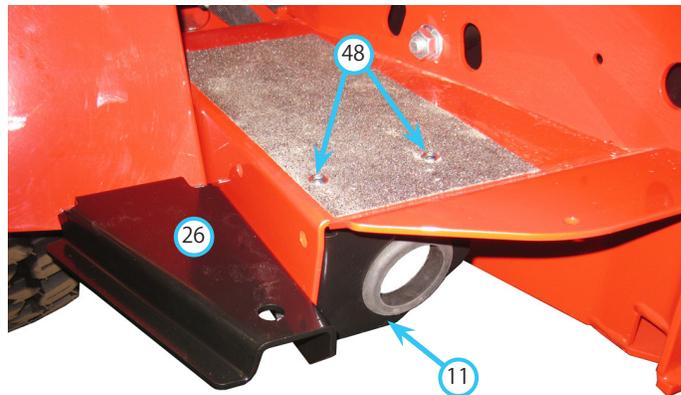


10. テンプレートを下部後部フレームの左側のフランジに移動し、1/8"の下穴を開ける。
11. ドリルで 11/32"の穴4つを開け、金属の削りくずを取り除き、開けた穴に赤いタッチアップペイントを塗る。
12. テンプレートを右足プラットフォームの上に置き、それをフレームと足プラットフォームの曲がりに合わせて。テンプレートを所定の位置に固定する。



13. フットプラットフォームに1/8"の下穴 (C) を開ける。注意: 一部のユニットでは、フットプレートの外側の穴がフレックストレッドによってすでに覆われている場合があります。

14. ドリルで 9/32"の下穴を開け、金属の削りくずを取り除き、開けた穴に赤いタッチアップペイントを塗る。
15. マウントサポートブラケット (11) を右足プラットフォームの下に取り付ける。1/4 x 3/4"のボタンヘッドボルト (48) 2本とフランジナットで仮止める。

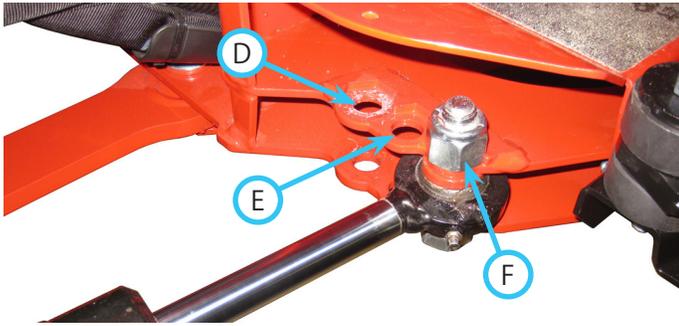


16. 右フロントキャブマウント (26) を下部リアフレームの下部取り付け穴に取り付ける。5/16 x 3/4"のボルトと平ワッシャーを後部の取り付け穴に通して締め付け、5/16 x 1"のボルトと平ワッシャーを前部の取り付け穴に通しフランジナットで固定する。マウントサポートブラケットの5/16"ボルトを締めてから、1/4"ボルトを締める。
17. 左フロントキャブマウント (28) を下部リアフレームの下部取り付け穴に取り付ける。5/16 x 3/4"ボルト2本と平ワッシャーで締め付け、フランジナットで固定する。5/16"のボルトを締め付ける。



セットアップ手順

18. パワーユニットのステアリングシリンダーを外側の位置 (F) に取り付け。締め付けトルクは230 N・m。



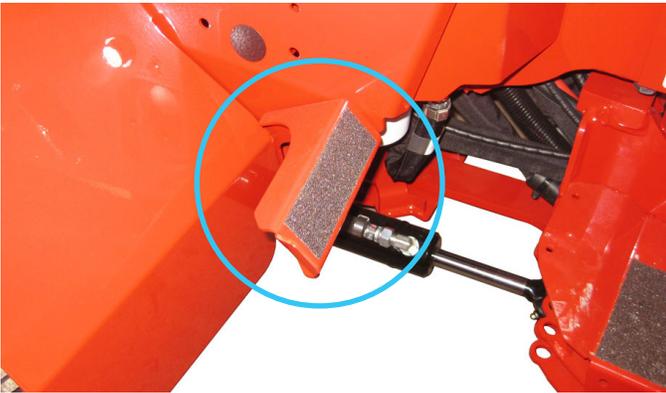
D. 内部位置
E. 中心位置

F. 外部位置

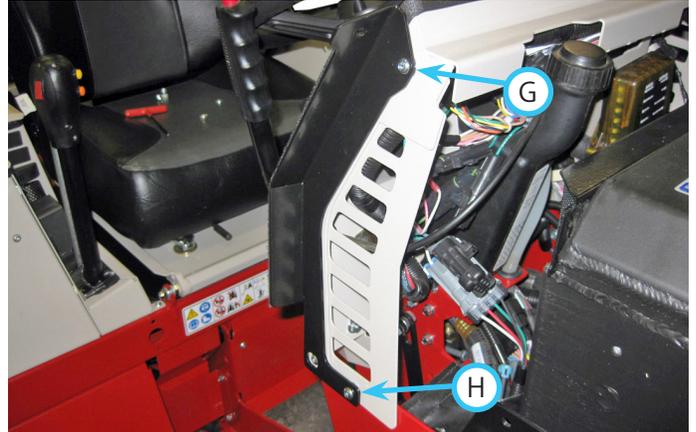
注意事項

パワーユニットのステアリングシリンダーを外側の位置に取り付けないと、パワーユニットや全天候キャブが損傷する場合があります。

19. パワーユニットのフロントフレームから左右のフットペグを取り外す。ボルトを再度取り付けて締める。



20. 右ダッシュアクセスパネルを取り外す。
21. 1/4 x 3/4"のボタンヘッドボルトとフランジナット2個を使って、右側のキャンバスコラム マウント (15) とダッシュアクセスパネルをダッシュボードに取り付ける。キャンバスコラムマウントとダッシュアクセス パネル間の上部ボルトには1/4"ワッシャー (G) 1個、キャンバスコラムマウントとダッシュアクセスパネル間の下部ボルトには1/4"ワッシャー (H) 2個を使う。



22. 左のキャンバスコラムカバー (16) についても繰り返す。
23. パワーユニットのポンプカバーを付属のフランジ付きポンプカバー (3) に交換する。



セットアップ手順

注意事項

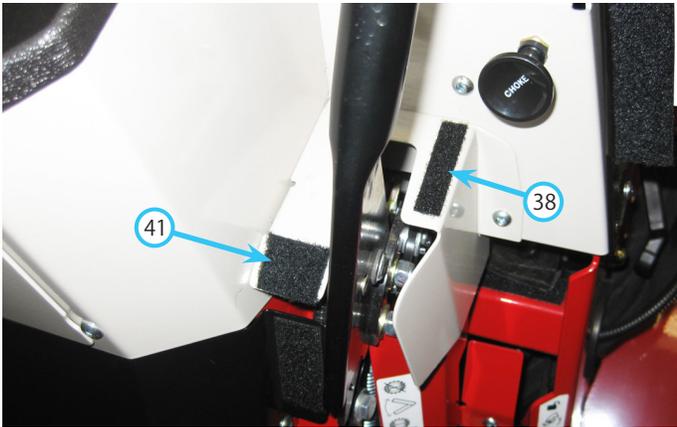
ベルクロストリップを取り付ける前に、残留物が残らないようにアルコールワイプまたはその他のクリーニングワイプでその部分を徹底的に清掃する。

24. 左ダッシュパネルのヒューズパネルの上側に、長さ5"の1/2"ベルクロテープ (39) を取り付ける。



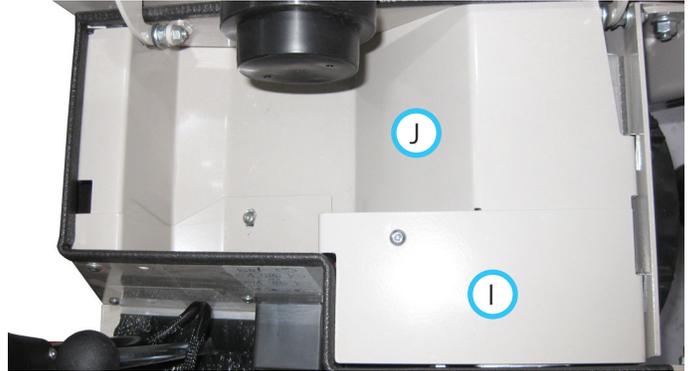
25. フロントフレームのハイ/ローシフトレバーとハイ/ローシフトロックブラケットの間に、長さ2-1/2"の1"ベルクロテープ (42) を取り付ける。

26. ブレーキレバーの前にある駐車ブレーキカバーに、長さ2"の1/2"ベルクロテープ (38) を取り付ける。



27. ブレーキレバーとセンターダッシュパネルの間の駐車ブレーキカバーに、長さ1"のベルクロテープ (41) を取り付ける。

28. ツールボックスの蓋を開け、左 (I) と右 (J) のツールボックスライナーパネル [4500] を取り外すか、コントロールパネル (K) [4520] を取り外す。



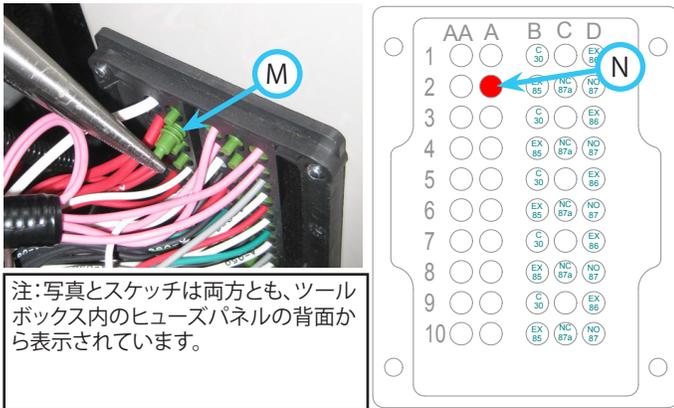
29. パワーユニットに適したトラクターハーネスを選択すること。シリアル番号 01001-02232の4500および4520パワーユニットは、ハーネス番号 32.0129を使用する。シリアル番号02233以上の4520パワーユニットでは、ハーネス番号32.0243を使用する。

30. ワイヤハーネスをパワーユニットのシートボックスエリアに配置する。リング端子をアーススタッド (L) に接続する。端子付きワイヤーをメインハーネスに沿って右フエンダーまで配線する。結束バンドを使ってワイヤーをメインハーネスに固定する。結束バンドの余分な端を切り取る。



セットアップ手順

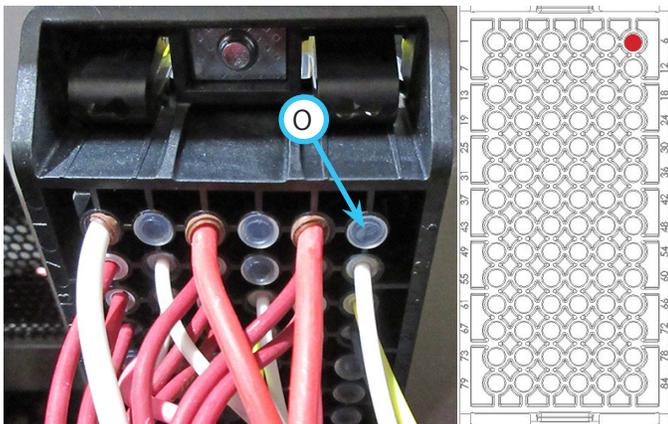
31. 4500および4520のシリアル番号01001-02172: ラジオペンチを使って、背面ヒューズパネルの位置A2 (N - 赤で強調表示された位置) にある緑色のプラグ (M) を取り外す。



32. 4500および4520のシリアル番号01001-02172: 端子をヒューズパネルのA2の位置に取り付ける。注意: 端子は一方にしかインストールできません。端子の穴を上に向けてヒューズパネルに挿入する。端子はカチッとほめ込む必要があります。必要に応じてラジオペンチを使って、電線の絶縁体を損傷しないように注意しながら端子を押し込む。手でワイヤーを軽く引っ張り接続を再確認する。



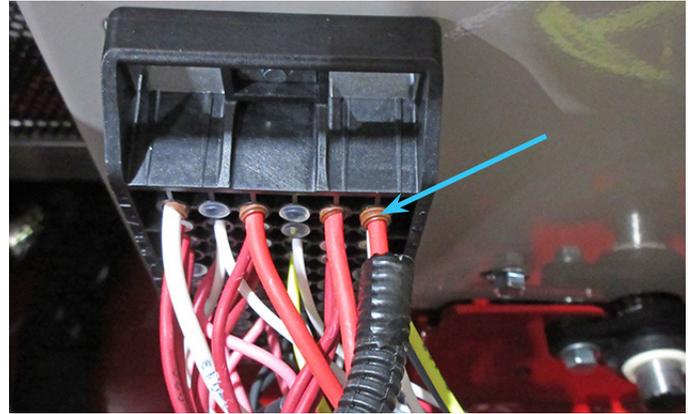
33. 4520シリアル番号 02173-: 右フェンダーの内側で、小さなマイナスドライバーを使って、リアヒューズパネルの位置#10 (赤で強調表示) にあるシール (O) をこじ開ける。



注意: 写真と図は、右フェンダー内のヒューズパネルの

背面を表示しています。

34. 4520シリアル番号 02173-: 端子を、表面にあるスロットが左右に走るように向け、ヒューズパネルの位置#6に取り付ける。端子はカチッとほめ込む必要があります。必要に応じてラジオペンチを使って、電線の絶縁体を損傷しないように注意しながら端子を押し込む。手でワイヤーを軽く引っ張り接続を再確認する。



35. シートをできるだけ前方に傾けて固定する。
36. シートボックスフレームの前側にある上部フランジに、長さ16"の1/2"ベルクロロール (40) を取り付ける。



37. シートボックスフレームの後ろ側にある上部フランジに、長さ8"の1"ベルクロロール (44) を2つ取り付ける。
38. シートボックスのリアフランジからシートピンボルトとシートピンを取り外す。
39. 1/4 x 1/2"のボタンヘッドボルト (47) 2本を使って、シートボックスフランジと下部リアウィンドウマウントの外側の穴を下方に通して、下部リアウィンドウマウント (20) をシートボックスリアフランジの下側に取り付け、フランジナットで固定する。

セットアップ手順



40. シートピンとボルトを使って、下部リアウインドウマウントの中央の穴に締め付ける。

41. リアフレームのキャンバスをシートボックスフレームの前側にあるベルクロに取り付け、キャンバスをフレーム全体に伸ばし、シートボックスフレーム後ろ側にあるベルクロに固定する。シートスプリングがキャンバスの切り欠きから突き出るようにする。



42. パワーユニットから既存のシートベルトを取り外すロールバーの背面にシートベルトアッパーマウント(1)を取り付ける。ロールバーの前側からシートベルト上部マウントの穴にUボルト2本を取り付ける。



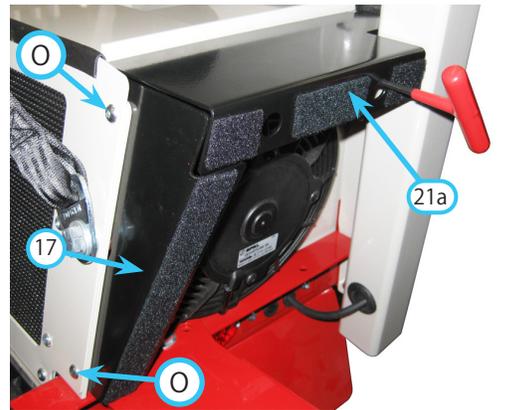
シートベルト上部マウントをロールバーの上部中央に配置し、3/8"ロックフランジナット4個で固定する。

43. シートベルトにねじれないことを確認し、下部シートベルトアンカーをパワーユニットのシートボックスリアパネルに固定する。各シートベルトアンカーに7/16 x 1-1/4"のボルトと平ワッシャーを取り付ける。各シートベルトアンカーとシートボックスリアパネルの間に7/16"の平ワッシャー2個を追加する。7/16"の平ワッシャーと7/16"のロックナットを使って、シートボックスリアパネルに固定する。



44. ツールボックスライナーパネル[4500]を取り付ける。注意: ツールボックスライナーパネルをリアシートボックスパネルに固定する2本のボルトは取り付けないでください。

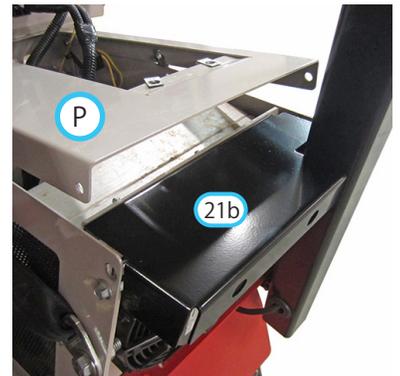
45. [4500] 右リアフェンダーの内側からボルト(O)とナット2本を取り外して廃棄する。リアウインドウ右ブラケット(17)をフェンダーフランジの裏側に置き、1/4 x 3/4"のボタンヘッドボルト2本と1/4インチのロックフランジナットで固定する。



46. [4500] ツールボックスライナーパネルのUナットに取り付けられた1/4 x 3/4"ボタンヘッドボルト2本を使って、リアウインドウトップブラケット(21a)をクーラーファンの上にあるリアパネルに取り付ける。

47. [4520] 右フェンダーカバー(P)の上部を右フェンダーの内側と外側のパネルに固定している7本のボルトを取り外す。

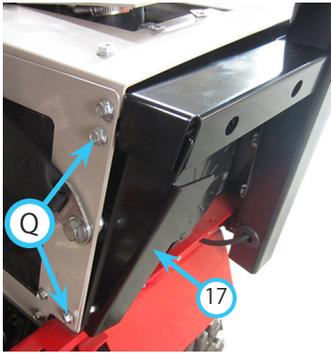
48. [4520] 1/4 x 3/4"ボタンヘッドボルト2本を使って、リアウインドウトップブラケット(21b)をクーラーファンの上にあるリアパネルに取り付ける。フェンダーカバー(P)の後ろ側を少し持ち上げて、ボルトに1/4"フランジナット2個を取り付け、締められるようにする。



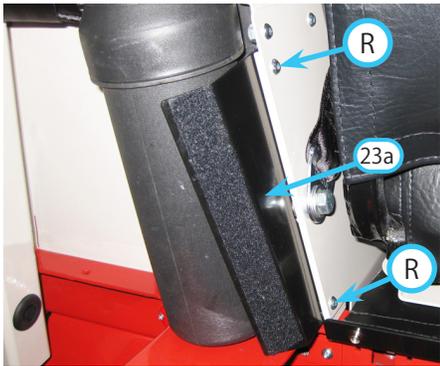
セットアップ手順

49. [4520] 右フェンダーカバーの上部を右フェンダーの内側と外側のパネルに固定していた7本のボルトを再取り付けする。

50. [4520] 右リアフェンダーの内側からボルト(Q)2本を取り外し、ロックフランジナットを廃棄する。リアウィンドウ右ブラケット(17)をフェンダーフランジの裏側に置き、オリジナルのボルトと新しい1/4"のロックフランジナットで固定する。



51. [4500] 左リアフェンダーの内側からボルト(R)とナット2本を取り外して廃棄する。リアウィンドウの左側ブラケット(23a)をフェンダーフランジの裏側に置き、フェンダーを通してブラケットのUナットに1/4 x 3/4"のボタンヘッドボルト2本で固定する。



52. [4520] 左リアフェンダーの内側からボルト(S)2本を取り外し、ロックフランジナットを廃棄する。リアウィンドウの左側ブラケット(23b)をフェンダーフランジの裏側に置き、フェンダーを通してブラケットのUナットにオリジナルのボルト2本で固定する。



53. 燃料タンクカバーの下側に、ロールバーとマニュアルホルダー[4500]の間、またはロールバーとリアウィンドウ左ブラケットのフランジ[4520]の間に、長さ4"の1"ベルクローブ(43)を取り付ける。



54. 左右のリアキャブマウントを識別する。キャブの取り付け面は前方に向かって傾斜し、ロールバーマウントの上部の穴も前方を向くことになる。

上部の取り付け穴を前方に向ける



55. Uボルト2本と3/8"ロックフランジナット4個を使って、リアキャブマウントをロールバーに取り付ける。取り付けフランジの底面は、シートボックスパネルの上面と平行(T)で、ロールバーの底から約34 cm上にある必要があります。注意: リアブラケットと右下ウィンドウのガラスの穴、および下部ドアウィンドウがフレームマウントタブまたは下部サポートの穴と一致していない場合は、この距離を若干上下に調整する必要があります。



セットアップ手順

56. 両方のリアキャブマウン
トの取り付け穴に2
ピースアイソレータ
を取り付ける。アイソレ
ータの段付き部品をキャ
ブマウントに挿入し、
底部部品を取り付け
る。

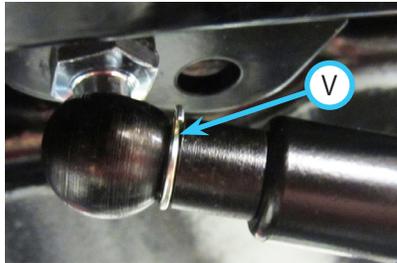
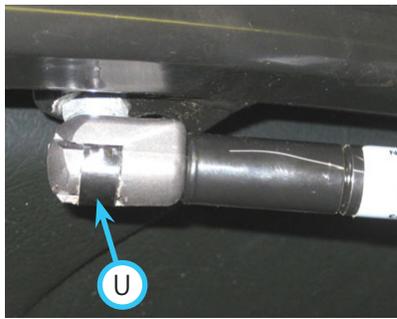


57. 3/16"厚のノッチ付きワ
ッシャー (31) を1/2 x 3"
のボルトに取り付ける。
ボルトを右キャブフロ
ントサポート (7) のアイ
ソレータに挿入する。
右キャブフロントサポ
ートを右フロントキャ
ブマウントに取り付け
る。1/2"のロックフラン
ジナットで固定する。
締め付けないこと。



58. 左キャブフロントサポ
ート (10) についても繰
り返す。

59. キャブフレームに
取り付けられている
ガス式ドアショック
アブソーバーを取り
外す。ショックア
ブソーバーエンド
にスプリングクリ
ップ (U) が装着され
ている場合は、マイ
ナスドライバーを
スプリングクリ
ップの下に挿入し、こ
じって外す。ショッ
クアブソーバーエ
ンドにリングクリ
ップ (V) が装着され
ている場合は、リン
グを引っ張ってショ
ックアブソーバーエ
ンドから外し、クリ
ップをショックアブ
ソーバー本体に向
かってスライドさせ
て取り外す。ショッ
クアブソーバーエ
ンドをマウントスタ
ッドから取り外す。



60. ドアを持ち上げてヒンジピンから外しキャブから取り
外す。

61. 右フロントウィンドウ
(緊急出口)と左右のリ
アサイドウィンドウを取
り外す。ハンドルを持
ち上げてラッチを解除し、
押してウィンドウを開け
る。ラッチピンから外れ
るまでハンドルをキャブ
の後方に向かって引く。



62. ウィンドウを持ち上げてキャブからウィンドウを取り外
す。

63. キャブから燃料タンクカバーを取り外す。

64. この時点で、必要なキャブアクセサリを取り付ける。

65. 全天候キャブを持ち上げて、パワーユニットの上に配置
する。

警告

キャブを持ち上げるには、4つのコーナーリフトポイントに
取り付けられたVentracリフトスリング (部品番号47.0381)
を使うか、キャブルーフを取り外して、キャブルーフ内の
2つのリフトポイントに最小定格226 kgのリフト装置を取
り付けます。

キャブが地面から浮いているときは、キャブの下を歩いた
り下に立ったりしないでください。

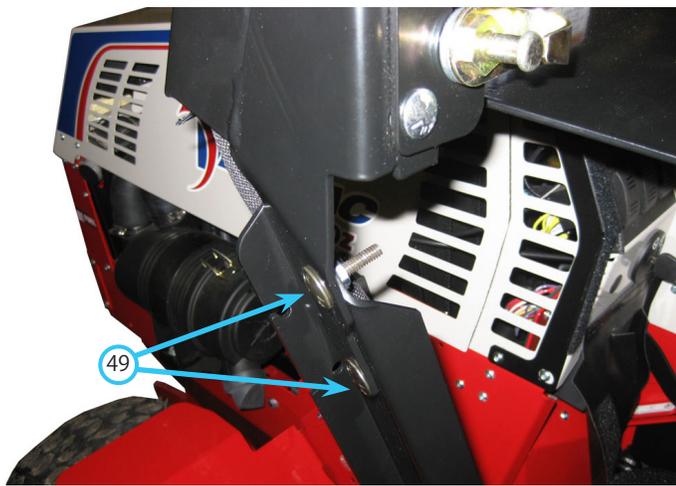


セットアップ手順

66. キャブをパワーユニットの上を下ろす。1/2 x 3"のボルトをキャブマウントブラケットに挿入し、ボルトをリアキャブマウントアイソレータの方に向ける。



67. キャブのフロントサポートがキャブの取り付け穴と揃うまで、キャブを上げ下げする(キャブサポートは、キャブフレームの取り付けタブの内側に取り付けられます)。1/4 x 1"のステップボルト (49) 4本を取り付け、1/4"のフランジナットで固定する。締め付けないこと。



68. リアキャブマウントブラケットがリアキャブマウントアイソレータに収まるまでキャブを下げる。各リアキャブマウントアイソレータの下側にある1/2"ボルトに3/16"厚のノッチ付きワッシャー (31) を取り付け、1/2"のロックフランジナットで固定する。
69. フロントキャブサポートの1/4"ハードウェアをキャブに締め付け、4つのキャブアイソレータマウントにある1/2"ハードウェアを締め付ける。

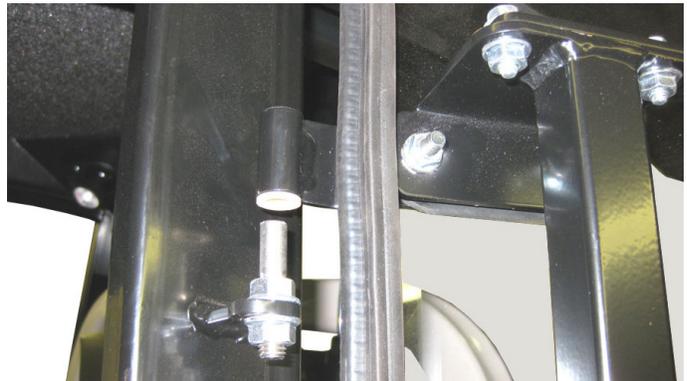
70. 燃料タンクカバー

(5)のフランジをキャブの取り付けフランジの内側にスライドさせて取り付ける。燃料タンクカバーを、燃料タンクの上をシールするまで十分に押し下げる。1/4 x 1/2"のボタンヘッドボルト2本をフロントキャブ取り付けフランジと燃料タンクカバーの前面に取り付け、1/4"のフランジナットで固定する。燃料タンクカバーとリアキャブ取り付けフランジの背面の穴



に1/4 x 1/2"のボタンヘッドボルト2本を取り付け、1/4"のフランジナットで固定する。

71. ヒンジピボットをキャブのヒンジピンに挿入して、ドアをキャブに取り付ける。

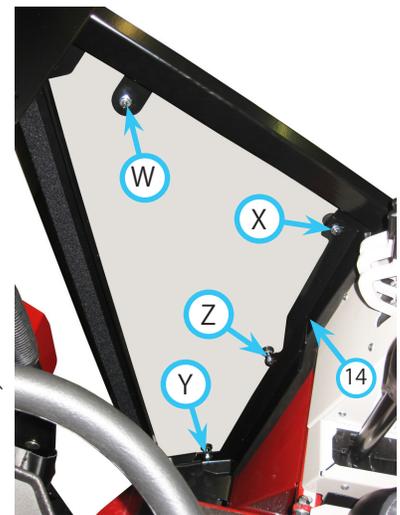


72. ガス式ドアショックアブソーバーエンドをキャブフレームの取り付けスタッドに取り付ける。ショックアブソーバーエンドにスプリングクリップが装着されている場合は、ショックアブソーバーエンドが所定の位置にカチッと収まるまでショックアブソーバーエンドをスタッドに押し付ける。ショックアブソーバーエンドにリングクリップが装着されている場合は、ショックアブソーバーエンドをマウントスタッドの上に置き、クリップをショックアブソーバーエンドの穴に挿入し、リングをショックアブソーバーエンドにカチッとはめて固定する。

注意事項

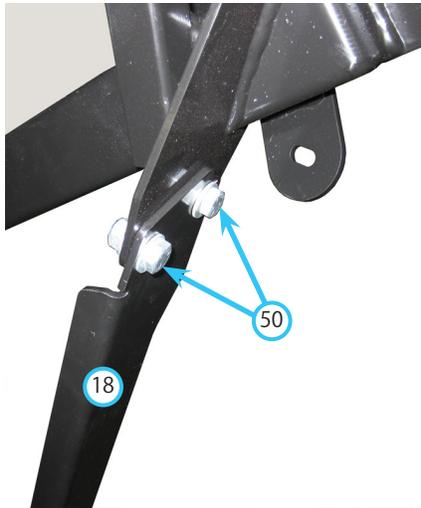
ドアが開きすぎたり、急に開いたり閉じたりしないように、ガス式ドアショックアブソーバーを取り付ける必要があります。ガス式ドアショックアブソーバーが取り付けられていない場合、ドアガラスや全天候キャブガラスが損傷する可能性があります。

73. 右下ウインドウと右下ウインドウブラケットを取り付ける。ウインドウに取り付けられている4つのステップボルトからナットは取り外すが、スペーサーは取り外さないこと。キャブフレームの3つの取り付けタブ(W、X、Y)にボルトを挿入する。右下ウインドウブラケット(14)を3つの後部ステップボルト(X、Y、Z)に取り付け、4つのボルトすべてを1/4"のフランジナットで締め付ける。ステップボルトの頭の下側のゴム製ワッシャーがわずかに膨らみ始めるまで締める。

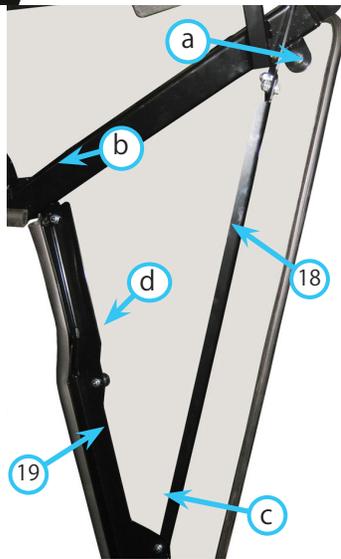


セットアップ手順

74. 5/16 x 3/4"ボルト (50) 2本のと平ワッシャーを使って、下部ドアウィンドウサポート (18) をドアフレームに取り付ける。5/16"ロックフランジナット2個で固定し、サポートがまだ動かせる程度にしっかりと締める。

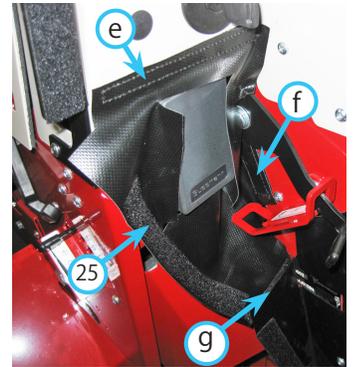


75. 下部ドアウィンドウと下部ドアウィンドウブラケット (19) を取り付ける。ウィンドウに取り付けられている4つのステップボルトからナットは取り外すが、スペーサーは取り外さないこと。ボルトをドアフレームの2つの取り付けタブ (aとb) と下部ドアウィンドウサポート (18) の取り付け穴 (c) に挿入する。ウィンドウを固定するために、上部フロントボルト (a) に1/4"のフランジナットを取り付ける。下部ドアウィンドウブラケット (19) を3つの後部ステップボルト (b、c、d) に取り付け、1/4"のフランジナットで締め付ける。ステップボルトの頭の下のゴム製ワッシャーがわずかに膨らみ始めるまで4つのフランジナットすべてを締める。



76. キャブのドアを閉じ、パワーユニットとキャブへの下部ウィンドウの密閉状態をチェックする。ウィンドウが適切に密閉されるまで、下部ドアウィンドウサポートの底部を内側または外側に動かす。下部ドアウィンドウサポートの最上部にある5/16 x 3/4"のボルトを締める。注意：ドアラッチの調整が必要な場合は、このマニュアルのサービスセクションを参照してください。

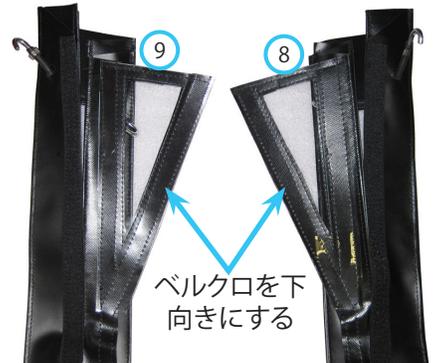
77. 左コラムキャンバス (25) をフロントフレームコラムの左側に取り付ける。ベルクロをダッシュパネル (e)、フレームプレート (f)、およびポンプカバーのフランジ (g) に固定する。



78. 左コラムキャンバス (24) をフロントフレームコラムの左側に取り付ける。ベルクロを駐車ブレーキカバー (hとi) とポンプカバーのフランジ (j) に固定する。

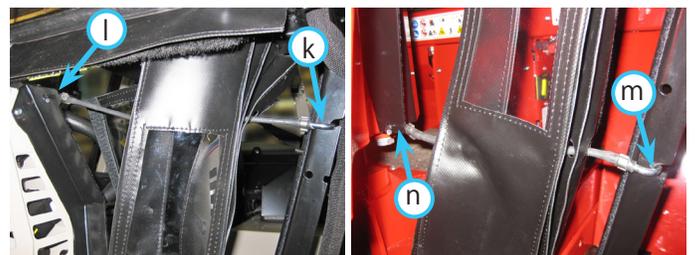


79. 三角形のウィンドウのベルクロが下を向くようにキャンバスのベローズを配置する。図のように左 (9) と右 (8) のベローズを識別する。



80. 左右のキャンバスベローズの最上部と最下部の穴の両方にベローズサポートストラップを取り付ける。ベルクロを下向きにする

81. 最上部のベローズサポートストラップを、左右のキャブフロントサポート (k) と左右のキャンバスコラムマウント (l) に引っ掛ける。最下部のベローズサポートストラップを、左右のキャブ前部サポート (m) とポンプカバーの左右フランジ (n) に引っ掛ける。

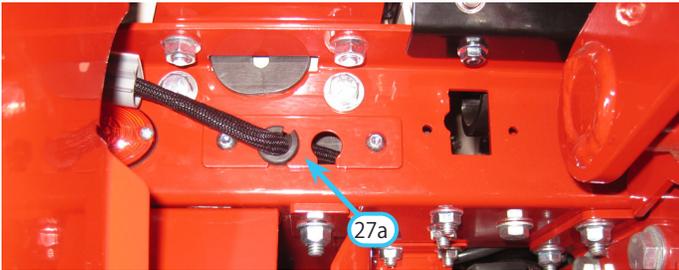


セットアップ手順

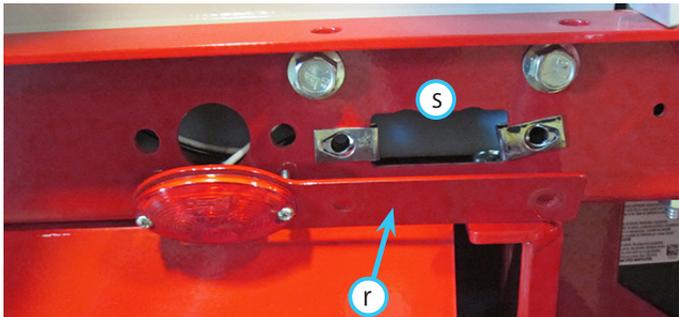
82. キャンバスベローズの外側ベルクロストリップを、左右のキャブフロントサポートのベルクロストリップ (o) に固定する。三角ウインドウのベルクロストリップを左右のキャンバスコラムマウントのベルクロテープに固定する (p)。キャンバスベローズの内側のベルクロストリップを、ポンプカバーと左右のコラムキャンバスのベルクロストリップに固定する (q)。



83. [4500] シートボックスフレームの背面から左側のブランクカバーを取り外し、切り欠きを通してワイヤーハーネスを配線し、先に取り付けたワイヤーハーネスに接続する。
84. [4500] キット内のグロメットの1つを切り取り、ワイヤーハーネスの上に置く。グロメットをアクセスカバー (27a) に取り付け、次にアクセスカバーをシートボックスフレームに取り付ける。

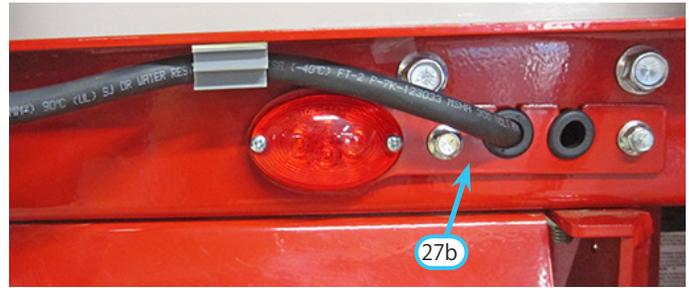


85. [4520] シートボックスフレームの背面からカバー (r) を取り外す。



86. [4520] テールライトをワイヤーハーネスから外す。必要に応じて、ハーネスとライトコネクタを長方形の切り欠きから引き出して取り外すことができます。**注意:** カバーにスロット付きの取り付け穴がある場合は、ワイヤーハーネスを外さずにライトを取り外すことができます。

87. [4520] テールライトをブランクカバーから取り外し、付属のアクセスカバー (27b) に再取り付けする。

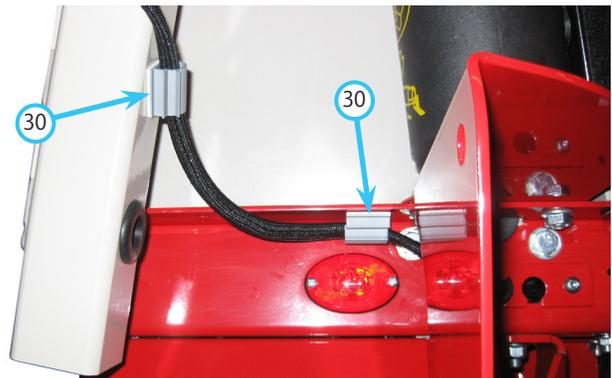


88. [4520] テールライトをパワーユニットのワイヤーハーネスに再接続する。
89. [4520] 切り欠きを通してワイヤーハーネスを配線し、先に取り付けたワイヤーハーネスに接続する。
90. [4520] キット内のグロメットの1つを切り取り、ワイヤーハーネスの上に置く。グロメットをアクセスカバー (27b) に取り付け、次にアクセスカバーをシートボックスフレームに取り付ける。

注意事項

接着クランプを取り付ける前に、残留物が残らないようにアルコールワイプまたはその他のクリーニングワイプでその部分を徹底的に清掃する。

91. テールライトの上にあるシートボックスフレームの底部に接着クランプ (30) を1つ取り付ける。もう一方のクランプ (30) を、シートボックスフレームとキャブフレームの中間あたりのロールバーの上に取り付ける。



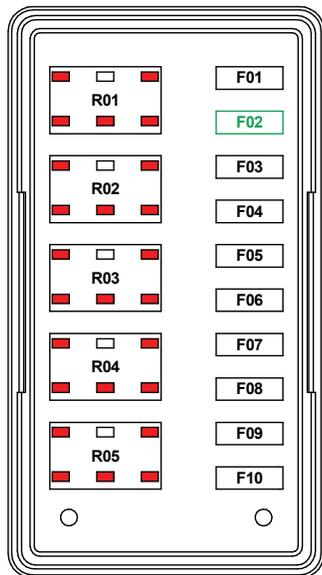
セットアップ手順

92. 下部リアキャンバス ウィンドウをキャブフレームと下部リアウィンドウマウントの所定の位置にカチッとはめ込む。ウィンドウのベルクロ ストリップを、リアウィンドウブラケット、燃料タンクカバーの下側、およびキャブフレームのベルクロストリップに取り付ける。

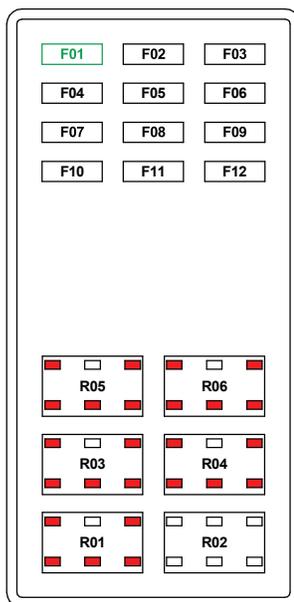


93. ウィンドウのヒンジピボットをキャブフレームのヒンジピンに差し込み、右フロントウィンドウと左右リアサイドウィンドウを取り付ける。ラッチをラッチピンの上に置き、押し下げてウィンドウを嵌め込む。
94. **4500および4520のシリアル番号01001-02172:** 30アンペアの回路ブレーカーをリアヒューズパネルのF02の位置に取り付け、ヒューズパネルカバーを再度取り付ける。注意:以前にストロボライトキットがインストールされていた場合、この位置にはすでにヒューズが取り付けられています。

4500 - 全ユニット
4520シリアル番号
01001-02172:



4520シリアル番号
02173-05664:

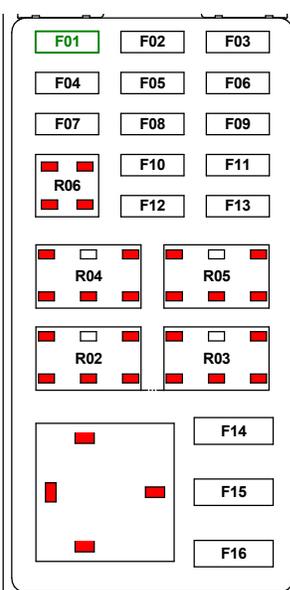


4520シリアル番号02173-05664: 30アンペアの回路ブレーカーをリアヒューズパネルのF01の位置に取り付け、ヒューズパネルカバーを再度取り付ける。注意:以前にストロボライトキットがインストールされていた場合、この位置にはすでにヒューズが取り付けられています。

4520シリアル番号 05665-:

30アンペアの回路ブレーカーをリアヒューズパネルのF01の位置に取り付け、ヒューズパネルカバーを再度取り付ける。注意:以前に全天候キャブが装着されていた場合、この位置にはすでに回路ブレーカーが装着されている可能性があります。

4520シリアル番号 05665-:



注意事項

全天候キャブおよび追加アクセサリへの電流は30アンペアを超えないようにしてください。

95. パワーユニットにガソリンエンジンまたはディーゼルエンジンのどちらが搭載されているかどうかを判断して、適切なガソリン安全デカール(33)またはディーゼル安全デカール(34)を燃料タンクカバーの横のキャブフレームに貼り付ける。

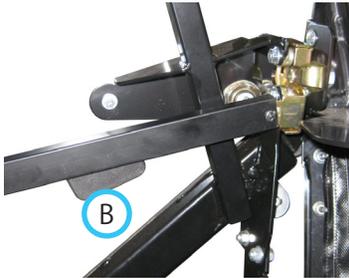


96. パワーユニットのタイヤ空気圧をチェックし、必要に応じて調整する。全天候キャブを取り付けた場合の推奨タイヤ空気圧については、このマニュアルのサービス章を参照してください。
97. バッテリーマイナスケーブル(-)をバッテリーに接続する。
98. インストールが完了です。全天候キャブの取り外し手順については、サービス章の「全天候キャブの保管準備」セクションを参照してください。

運転装置

運転装置の配置

これらの画像はコントロールの場所を識別します。マシンを操作する前に、すべてのコントロールに慣れてください。



- A. 外側ドアハンドルとロック
- B. 内側ドアハンドル
- C. ウィンドウラッチハンドル
- D. 室内灯スイッチ
- E. ハザードランプスイッチ (オプション)
- F. ストロボ照明スイッチ (オプション)
- G. リア作業灯スイッチ
- H. フロント作業灯スイッチ
- I. ワイパー/ウォッシャースイッチ
- J. ヒーターファン速度スイッチ
- K. ヒーター温度スイッチ
- L. USB ソケット
- M. リアヒーターベント
- N. メインヒーターベント
- O. 霜取りファンとスイッチ (オプション)

外側ドアハンドルとロック(A)

外側のドアハンドルのボタンを押してドアのラッチを解除する。外側のドアハンドルはキーでロックできます。ドアをロックするにはキーを時計回りに回し、解除するには反時計回りに回します。

内側ドアハンドル(B)

内側のドアハンドルのボタンを握ってドアのラッチを解除する。ドアは内側からは施錠できません。

ウィンドウラッチハンドル(C)

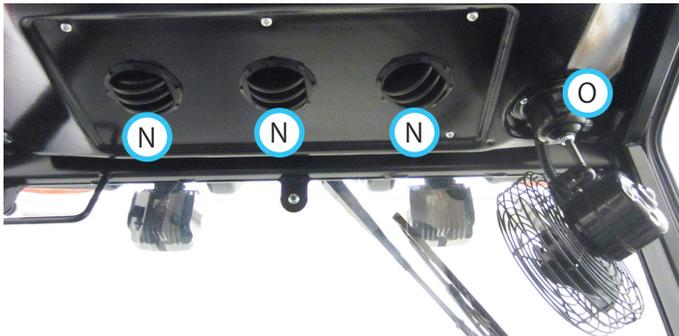
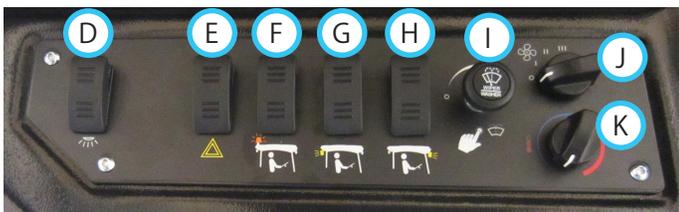
全天候キャブのサイドウィンドウは開いたまま固定することができます。ウィンドウのラッチハンドルを上げ、ウィンドウを押し出してからハンドルを下げて所定の位置にラッチします。ウィンドウが開いているときは、ラッチハンドルを引き出してラッチピンから取り外すことができます。これにより、右フロントウィンドウを完全に開いて緊急出口として使うことができ、サイドウィンドウを全天候キャブから取り外すことができます。

室内灯スイッチ (D)

室内灯スイッチの上部を押すと、ヘッドライナーの右後隅にある室内灯が点灯します。スイッチの底部 (2) を押すと消灯します。

ハザードランプスイッチ (E)

オプションのアクセサリ。ハザードライトスイッチの上部を押すと、全天候キャブのコーナーにある4つのハザードライトが点滅します。スイッチの底部 (2) を押すとハザードライトが消灯します。



運転装置

ストロボ照明スイッチ (F)

オプションのアクセサリ。ストロボ照明スイッチの上部を押すと、全天候キャブの左後隅にあるストロボ照明が点灯します。スイッチの底部 (2) を押すとストロボ照明が消灯します。

ストロボ照明には選択可能な6つの異なるフラッシャーモードがあります。ストロボ照明のフラッシャーモードを変更する手順については、このマニュアルのサービス セクションを参照してください。

リア作業灯スイッチ (G)

リア作業灯スイッチの上部を押すと、リア作業灯が点灯します。スイッチの底部 (2) を押すとリア作業灯が消灯します。

フロント作業灯スイッチ (H)

フロント作業灯スイッチの上部を押すと、フロント作業灯が点灯します。スイッチの底部 (2) を押すとフロント作業灯が消灯します。

ワイパー/ウォッシャースイッチ (I)

ワイパースイッチには、間欠 (可変遅延) モードと2つの固定速度モードがあります。固定速度モードは両方ともワイパーモーターを同じ速度で動作するように設定されています。

ワイパースイッチを時計回りに回すとワイパーがオンになります。カチッと音がするまでスイッチを時計回りに回し、固定速度モードを選択します。

オフ位置と固定モードの間には、ワイパー速度をワイパーサイクルの間隔を任意に設定する間欠モードがあります。間隔を短くするには、スイッチを時計回りに回します。間隔を長くするには、スイッチを反時計回りに回します。

ヒーターファン速度スイッチ (J)

ヒーター ファン速度スイッチを回して、希望するファン速度の位置 (オフ、低、中、高) を選択します。

ヒーター温度スイッチ (K)

温度スイッチはヒーターからの空気の温度を調節します。温度を上げるには、スイッチを時計回りに回します。温度を下げるには、スイッチを反時計回りに回します。

USB ソケット (L)

USB ソケットには、携帯電話やその他のアクセサリを充電するためのUSB ポートが2つあります。

リアヒーターベント (M)

リアヒーターベントを回転させ、ルーバーを傾けて空気の流れを希望の方向に向けることができます。

ルーバーでベントを回転させないでください。ベントフランジを使用してベントを回転させます。

メインヒーターベント (N)

メインヒーターベントを回転させ、ルーバーを傾けて空気の流れを希望の方向に向けることができます。

ルーバーでベントを回転させないでください。ベントフランジを使用してベントを回転させます。

霜取りファンとスイッチ (O)

オプションのアクセサリ。霜取りファンには2つの速度があります。スイッチの上部を押すと、ファンが低速で回転します。スイッチの底部を押すと、ファンが高速で回転します。スイッチを中央の位置に戻すと、ファンがオフになります。ファンを回して、必要な場所に空気を送ることができます。

運転操作全般について

日常点検

警告

機械の点検、修理、調整などを行う時は、必ず駐車ブレーキを掛け、パワーユニットのエンジンを停止してイグニッションキーを抜き取り、機械のすべての動作が完全に停止していることを確認すること。

1. 平らな場所にマシンを止め、エンジンを停止し、オイルなどが十分に冷えるのを待つ。
2. パワーユニットと全天候キャブの両方の目視点検を行う。全天候キャブがパワーユニットに正しく取り付けられていることを確認する。ゆるんだり外れたりしている部品や、機器の破損や摩耗がないか点検する。
3. 作業灯、ハザードランプ、ストロボランプを点検し、ライトが正常に機能していることをチェックする。
4. ウィンドウやドアのシール部分にひび割れや破れがないかを点検する。ガラスに欠けや損傷がないかをチェックする。
5. ヒーターホース（装備されている場合）を点検し、しっかりと接続され、漏れがないかを点検する。

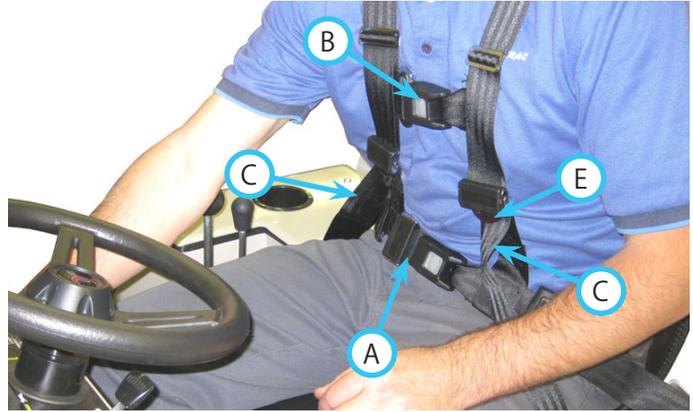
注意事項

全天候キャブにヒーターキットが装備されていて、外気温度が4℃以上の場合、必ずラジエターバッフルを外してラジエタースクリーンに交換すること。

6. ワイパーブレードの状態を確認してください。ワイパーブレードを使用する前に、付着した氷や雪を取り除いてください。ワイパーブレードがフロントガラスに凍り付いている場合は、ワイパーブレードを慎重に浮かせるかウィンドウの霜を取り払ってください。
7. 運転前に、ウィンドウに付いた氷や雪を取り除き、ウィンドウの霜を取り払ってください。視界が制限されている場合は運転しないでください。

4点式シートベルト

4点式シートベルトの下部バックル(A)を締め、腰ベルトが軽く動く程度に締付けられるように調節する。腰ベルトストラップの端を引っ張って締める。バックルがオペレーターの中央に留まるように、両側を均等に締める。シートベルトストラップロックのバックルと反対側の端を上引っ張って緩める。



4点式シートベルトの上部バックル(B)を締め、左右のショルダーベルトを調節する。ショルダーベルトは、オペレーターがダッシュコントロールのすべてに手が届く程度のきつさで締める必要があります。左右のショルダーベルト(C)のストラップの端を引っ張って締める。シートベルトストラップロックのタブ(E)を持ち上げて、ショルダーベルトを緩める。

オペレーターがベルトに対して前方に傾いたときに、バックルがオペレーターの胸の中央に引っかかるように、上部バックルの位置を調節する。

シートベルトをオペレーターに適切にフィットする程度まで締めたり緩めたりできない場合は、シートベルトの上部マウントを調節する必要があります。このマニュアルのサービス章にある「シートベルト上部マウントの調節」セクションを参照してください。

ストロボ照明

ストロボ照明は回転アームに取り付けられています。運転中はストロボ照明を上回転させる。狭い場所、輸送中、または保管中の場合は、ストロボ照明を後方および下方に回転させる。

ストロボ照明アームはスプリングによって固定されています。ストロボ照明またはアームが物体に接触すると、スプリングがピボットアームを解放し、物体から離れて前方または後方に回転します。このような場合は、操作を停止し、余裕ができればストロボ照明を元の位置に戻してください。

注意事項

交換部品は必ず Ventrac 純正品を使用すること。

機体の清掃と一般的な保守整備作業

全天候キャブの性能を維持し保護するために、全天候キャブは使用後に洗浄し、汚れや砂利、塩分などを取り除いてください。ルーフ、ウインドウ、付属品に積もった氷や雪を取り除くこと。

注意事項

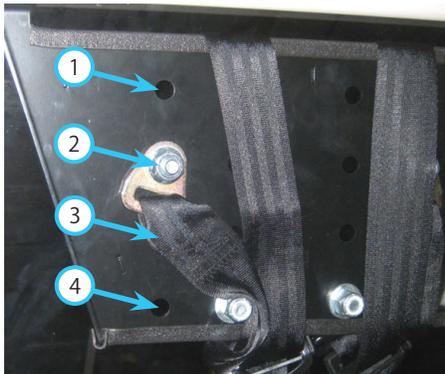
全天候キャブや付属品の表面を保護するために、使用後は毎回洗い、腐食性の物質（融雪剤など）を除去しておくこと。洗浄を怠ると、鉄、アルミニウム、電気部品など（これら以外の様々なものに）腐食が発生する可能性がある。腐食を起こしやすい環境で繰り返し使用する機器は、あらかじめ防錆処理をしておくことが望ましい。

シートベルトアッパーマウント調整

シートベルトアッパーマウントには、シートベルト取り付け位置が4つあります。シートベルトは工場出荷時に2番目の位置に取り付けられています。

シートベルトを十分に締めて運転者を適切に固定できない場合は、シートベルトアンカーをシートベルトアッパーマウントの最初の位置に移動する。

シートベルトを十分に締めた状態で運転者を適切に固定できない場合は、シートベルトアンカーをシートベルトアッパーマウントの3番目または4番目の位置まで下げる。



ウインドウラッチの調整

ウインドウがきちんと閉まらない場合は、ウインドウのラッチピンを調整することができます。

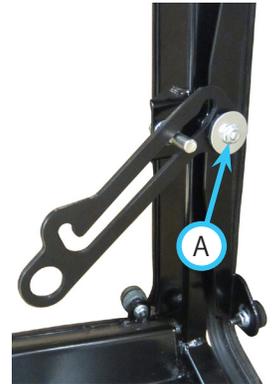
ウインドウが正しく密閉されない場合は、ウインドウのラッチピンのナットを緩めて、ウインドウから少し遠ざける。

ウインドウのラッチが閉まりにくい場合は、ウインドウのラッチピンをウインドウの方向に少し動かす。



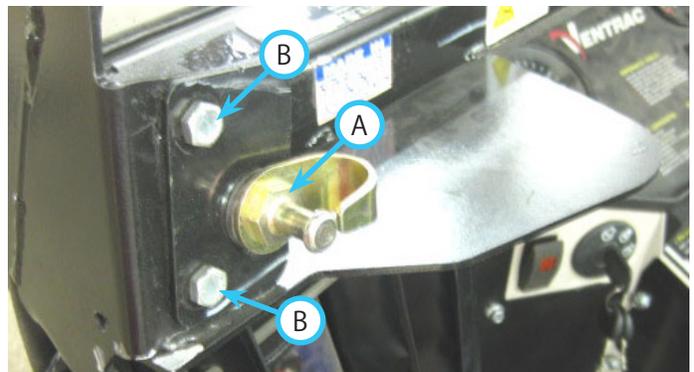
ウインドウラッチハンドルの調節

ウインドウラッチハンドルがラッチされたときに適切な位置にとどまっていない場合（ガラスに近すぎるか、ガラスからかなり突き出ている）、ウインドウラッチハンドルの位置を調節できます。ハンドルのラッチを外し、ハンドルボルト (A) を緩めて、ハンドルを取り付けスロット内で上下に動かす。ハンドルを上を動かすと、ラッチ時にハンドルがガラスに近づきます。ハンドルを下を動かすと、ラッチ時にハンドルがガラスから遠ざかります。



ドアラッチの調整

ドアがきちんと閉まらない場合は、ラッチピンを調整することができます。ラッチピンとドアラッチが垂直方向にずれている場合は、ラッチピンの背面にあるナット (A) を緩め、ラッチピンを上下に動かしてドアラッチと正しく噛み合うようにする。



ラッチピンが深すぎるためにドアがラッチしない場合、またはドアはラッチするがちゃんとシールされない場合は、2つのラッチプレートボルト (B) を緩めて、ラッチプレートを適切な深さになるまで内側または外側に移動する。注意：ラッチピンの深さを変更する前に、ロードアウインドウが適切に調節されているかどうかをチェックする。

整備

ドアラッチの注油

ドアラッチメカニズムには、スプレー潤滑剤または軽量オイルにて50時間ごとに注油してください。布を使ってウィンドウガラスに潤滑剤が飛び散らないよう保護し、余分な潤滑剤を拭き取り滴り落ちないようにする。

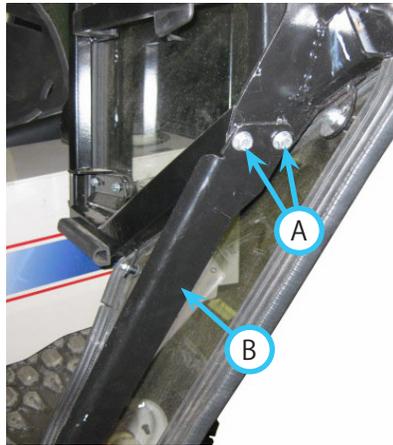
下部ドアウィンドウの調節

下部ドアウィンドウの底部がキャブの左側のフロントサポートと接続する部分をチェックする。

メインドアが閉じられ密閉されたときに、下部ドアウィンドウとキャブフロントサポートの間に隙間がある場合は、下部ドアウィンドウを内側に調節する必要があります。

下部ドアウィンドウがキャブフロントサポートに当たるのが早すぎると、キャブのドアが適切にラッチまたは密閉されなくなる可能性があります。この場合は、下部ドアウィンドウを外側に調節する必要があります。

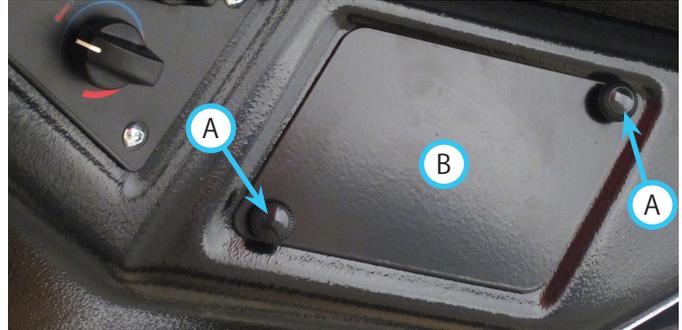
下部ドアウィンドウサポート (B) の上部にある2本のボルト (A) を緩める。適切な位置に到達するまで、下部ドアウィンドウサポートの底部を内側または外側に動かす。下部ドアウィンドウサポートのボルトを締め直す。



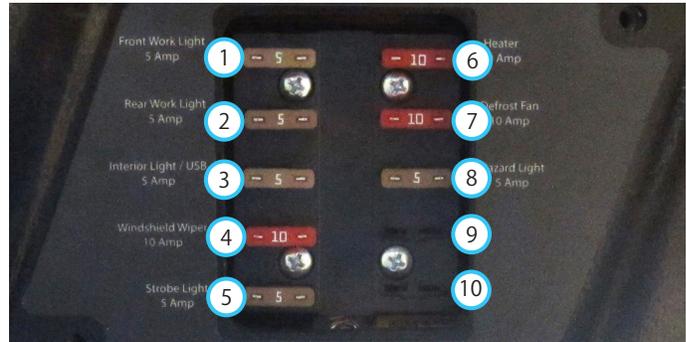
ヒューズの交換

ヒューズパネルは、メインコントロールパネルの右側のヘッドライナーにあります。

1. ヒューズパネルカバー (B) から2本のつまみネジ (A) を取り外す。



2. 取り換えの必要なヒューズを取り外す。



位置	ヒューズ	回路
1	5アンペア	フロント作業灯
2	5アンペア	リア作業灯
3	5アンペア	室内灯/USB出力
4	10アンペア	ワイパー/ウォッシャー
5*	5アンペア	ストロボ照明
6	10アンペア	ヒータ
7*	10アンペア	デフロストファン
8*	5アンペア	ハザードランプ
9	-	開ける
10	-	開ける

*オプションのアクセサリ

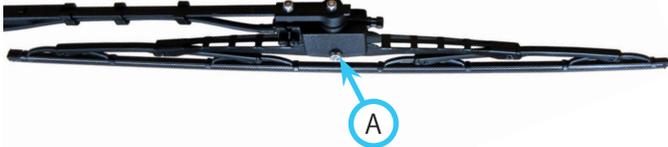
3. ソケットに新しいヒューズを入れる。ヒューズの電流定格が正しくないと電機システムを破損する恐れがあるので注意すること。
4. ヒューズパネルカバーとつまみネジを再度取り付ける。

整備

ワイパーブレードの交換

ワイパーブレードは毎年交換する必要がありますが、ブレードが損傷したり、フロントガラスを効果的に拭き取らなくなった場合は、それより早く交換する必要があります。

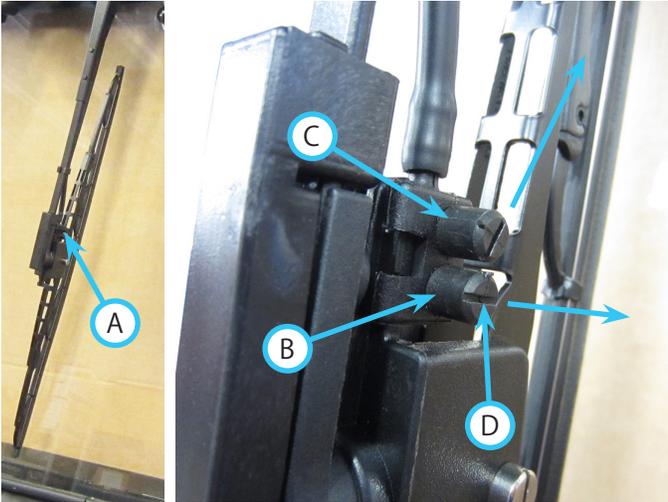
1. ワイパーブレードをワイパーアームに固定しているナット(A)とボルトを取り外す。



2. 新しいワイパーブレードを取り付け、ナットとボルトで固定する。

フロントウインドウウォッシャーノズルの点検と調節

ワイパーアームの両側に2つずつ、計4つのフロントウインドウウォッシャーノズル(A)があります。下部の2つのノズル(B)は、ウォッシャー液がウインドウにまっすぐまたは少し下向きに噴射されるように調節する必要があります。上部2つのノズル(C)は、ウォッシャー液がワイパーブレードの上端のウインドウを濡らすように調節する必要があります。



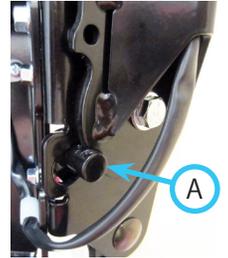
必要に応じて、マイナスイドライバーを使ってノズル調節スロット(D)でノズル向きを調節する。調節スロットはノズルのスプレー方向と一致しており、ノズルの方向を調節するのに使用できる。

ストロボを点滅モードに変更するには

1. キャブ上部のルーフを取り外す。
2. ストロボライトからのワイヤーがメインワイヤーハーネスに接続されている場所を見つける。黄色のワイヤーがモード切替スイッチになっています。
3. パワーユニットのイグニッションキーをオンの位置に回して、キャブに電力を送る。
4. ストロボ照明スイッチをオンにする。
5. 黄色のワイヤー端部を、電源端子(赤線)の後ろに差し込む。黄色のワイヤーを赤色のワイヤーに接触させることで、ストロボのモードが切り替わる。
6. 希望のモードに達したら、ストロボ照明をオフにし、パワーユニットのイグニッションキーをオフの位置に回して、キャブルーフを再度取り付ける。

ストロボ照明ピンの潤滑

50時間の動作ごとに、スプリングラッチアームのピン(A)にグリースを薄く塗布する。

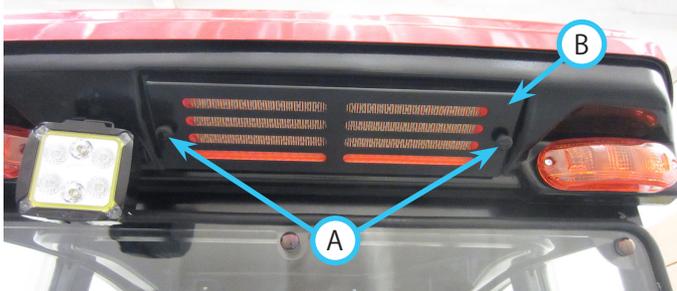


整備

ヒーターエアフィルターの交換

ヒーターエアフィルターは毎年交換する必要がありますが、ほこりの多い環境で動作している場合はもっと早く交換する必要があります。

1. キャブにフィルターカバー (B) を固定している2本のつまみネジ (A) を取り外す。



2. キャブの空気取り入れ口からエアフィルター (C) を取り外し、交換用のフィルターを挿入する。



3. フィルターカバーを再度取り付け、つまみネジで固定する。

格納保管

全天候キャブを保管する準備

1. 全天候キャブを清掃する。

注意事項

パワーユニットと全天候キャブの良好な状態を長く維持するために、劣化の元になる(塩分など)を除去しておくことが大切である。洗浄を怠ると、鉄、アルミニウム、電気部品など(これら以外の様々なものに)腐食が発生する可能性がある。

2. ゆるんだり外れたりしている部品や、機器の破損や摩耗がないか点検する。摩耗・破損した機器は交換する。
3. 安全デカルを点検する。色あせ、判読不能、または欠落しているデカルは交換する。

全天候キャブの取り外し

警告

取り付けを開始する前、または修理や調整を行う前に、必ず駐車ブレーキを掛け、パワーユニットのエンジンを停止してイグニッションキーを抜き取り、マシンのすべての動作が完全に停止していることを確認してください。電気部品に触るときは、必ずバッテリーのマイナスケーブルをバッテリーから外してください。

警告

取り付けの際は安全メガネを着用する必要があります。エア工具や電動工具を使うときは、必ず聴覚保護具を着用してください。

警告

キャブを持ち上げるには、4つのコーナーリフトポイントに取り付けられたVentracリフトスリング(部品番号47.0381)を使うか、キャブーフを取り外して、キャブーフ内の2つのリフトポイントに最小定格226 kgのリフト装置を取り付けます。キャブが地面から浮いているときは、キャブの下を歩いたり下に立ったりしないでください。

警告

パワーユニットと全天候キャブのセットアップ中にパワーユニットが動かないように、車輪の前後に輪止めを取り付けてください。

1. パワーユニットが動き出さないように、車輪の前後に輪止めを掛けてください。
2. 全天候キャブにヒーターキットが装備されている場合は、パワーユニットフットプラットフォームの前端にある左側キャブヒーターホースとパワーユニットヒーターホースの接続部を見つける。液体の流出を防ぐために、接続部の両側でホースを挟み込む。ヒーターホースを外し、ヒーターキットに付属の継手で端にキャップをする。
3. 右側のヒーターホースについても同様に繰り返す。
4. スナップを外して下部のリアキャンバスウィンドウを取り外す。
5. パワーユニットシートの下のカブワイヤーハーネスを外す。シートボックスフレームの背面からアクセスカバーを取り外し、パワーユニットからハーネスを取り外す。アクセスカバーを再度取り付ける。シートボックスフレームとロールバーのワイヤークランプからハーネスを取り外す。

整備

- シートの下からリアフレームのキャンバスを取り外す。
- ベローズサポートストラップ(4)をキャブのフロントサポートとコラムマウントから外す。全天候キャブからサポートストラップ付きのキャンバスベローズを取り外す。
- ハイ/ローシフトレバーの周囲から左コラムキャンバスを取り外す。
- 駐車ブレーキとニュートラルアシストレバーの周囲から右コラムキャンバスを取り外す。
- キャブドア、右フロントエマージェンシーウインドウ、および左右のリアウインドウを取り外す。
- 全天候キャブから右下のウインドウとウインドウブラケットを取り外す。
- リアキャブマウントから1/2"ボルトを取り外す。
- メインキャブフレームをフロントキャブサポートに固定している1/4"のステップボルトを緩める。
- リフトスリングまたはその他の吊り上げ装置をキャブに取り付け、張力を調節してキャブを支え、フロントキャブサポートから1/4"のステップボルトを取り外す。

警告

キャブを持ち上げるには、4つのコーナーリフトポイントに取り付けられたVentracリフトスリング(部品番号47.0381)を使うか、キャブルーフを取り外して、キャブルーフ内の2つのリフトポイントに最小定格226 kgのリフト装置を取り付けます。

キャブが地面から浮いているときは、キャブの下を歩いたり下に立ったりしないでください。

- 全天候キャブを持ち上げて、パワーユニットから取り外す。
- 全天候キャブをパレットの上に置き、保管する。
- パワーユニットのロールバーからリアキャブマウントを取り外し、キャブと一緒に保管する。
- フロントキャブサポートをフロントキャブマウントに固定している1/2"ボルトを取り外さずに緩める。パワーユニットのフットプラットホームからフロントキャブマウントを取り外し、キャブと一緒に保管する。
- フランジ付きのポンプカバーをパワーユニットのセンターコラムから取り外し、元のポンプカバーを再度取り付ける。
- パワーユニットのダッシュから左右のキャンバスコラムマウントを取り外す。
- パワーユニットの背面から左、右、および上部のウインドウブラケットを取り外す。
- デュアルホイールを使う場合は、パワーユニットのステアリングシリンダーを中央の取り付け穴に移動し、シングルホイールを使う場合は内側の穴に移動する。
- 必要に応じて、左右のフットペグを再度取り付ける。
- 4点式シートベルトを全天候キャブなしで使う場合は、

取り付けたままにしておくことができます。

警告

4点式シートベルトをパワーユニットから取り外した場合は、元のラップベルトを再度取り付ける必要があります。

- キャブとパワーユニットから取り外したすべてのキャブコンポーネントを全天候キャブ内のパレット上に並べる。
- 右側のエマージェンシーウインドウと左右のリアウインドウをキャブに再度取り付ける。
- ドアをキャブ内に入れて保管するか、下部ドアウインドウ、ウインドウサポート、および下部ドアのサポートブラケットを取り外してキャブ内に配置し、上部ドアをキャブに再度取り付ける。
- キャブをパレットに固定し、損傷から保護される場所に保管する。

全天候キャブを保管場所から取り出す

- アタッチメントにたまっているごみやほこりを除去する。
- このマニュアルのセットアップ手順に従って、全天候キャブをパワーユニットに取り付ける。
- このマニュアルの「日常点検」の手順に従って、全天候キャブの点検を行う。
- 全天候キャブの試運転を行って、すべてのコンポーネントが正常に動作することを確認する。

パワーユニットのタイヤ空気圧

全天候キャブを取り付けた場合、パワーユニットのタイヤ空気圧は、全地形タイヤおよびバータイヤの場合は83~110 kPa、ターフタイヤの場合は103~138 kPaに維持する必要があります。

仕様

寸法

全高.....	188 cm
全長.....	150 cm
全幅.....	127 cm
重量.....	188 kg
全高(パワーユニットに取り付けた場合).....	206 cm
ストロボビーコン付きの全高(パワーユニットに取り付けた場合).....	219 cm
全長(標準ヒッチ付きパワーユニットに取り付けた場合).....	234 cm
回転半径(パワーユニットにキャブを取り付けた場合).....	173 cm

特長

- フレーム付きガラスデザイン
- 強化ガラス
- 取り外し可能なドアとサイドウィンドウ
- 非常出口
- 下部リアパネルのウインドウ
- フロントブリーツキャンバスパネルのウインドウ
- 4辺縁取りのあるヘッドライナーとルーフアセンブリ
- 耐久性の高いフロントワイパーとワイパーモーター
- フロントとリアのLED作業灯
- 4点式シートベルト
- クッション付きヘッドレスト
- デュアルポートUSB出力